



平成26年度 全国の戦災の追悼施設・追悼式 追補版

平成26年度 全国の戦災の追悼施設・追悼式

追補版



平成26年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

追補版

平成26年11月



北海道 中川郡 本別町 「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」

※写真提供 本別町



福島県 郡山市 「戦災者慰霊之碑」



埼玉県 川口市 「空からの火」



和歌山県 橋本市 「橋本駅米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の集い」 ※写真提供 橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼の会



静岡県 磐田市 「磐田市戦没者・戦災死者追悼式」

※写真提供 磐田市



鳥取県 西伯郡 大山町 「大山口列車空襲 慰霊の碑」

※写真提供 山陰歴史館



愛媛県 松山市 「愛媛県戦没者追悼式」

※写真提供 愛媛県

平成26年度 全国の戦災の追悼施設・追悼式

追補版



鹿児島県 指宿市 「戦没学童慰霊之碑」

趣 旨

この報告書は、戦争を知らない若い世代の方々に、自分の街にも空襲があったということを知っていただき、機会があれば訪れる際の案内として使えるように、どなたでも訪ねることのできる追悼施設、どなたでも参加することのできる追悼式を対象に、平成26年度の総務省の委託事業として弊社が行ったものです。

本書は先の大戦における空襲や艦砲射撃等による民間人犠牲者（一般戦災死没者）に関する追悼施設、追悼式を掲載対象としております。

この報告書を契機として、追悼施設や追悼式に込められた深い悲しみに思いを致していただければと、考えております。

最後になりましたが、本書の調査、編集に当たってご協力いただいた皆様に、深く感謝いたします。

株式会社NHKグローバルメディアサービス

- 当報告書は、全国各地の空襲や艦砲射撃等の戦災に関係する主な追悼施設、追悼式のうち、平成22年度から平成25年度までの報告書に掲載されなかったものを掲載しています。
（「戦没者」との合同形式も含みます）
- 学校・企業・個人の敷地内にあり、入場に制限がある追悼施設に関しては基本的に掲載を見合わせています。
- 追悼式に関しては、開催時期、開催主旨、参列条件、情報不足等の理由により、掲載できなかったものもあります。
- 客観性、公平性を保つため、追悼施設に関しては、所在地や建立年等の事実関係を記した基本情報と碑文の掲載のみに止めています。
また、慰霊碑等に「説明文（板）」が付属する場合は併せて掲載しています。
なお、碑文、説明文による情報がない、または少ない場合は、関係資料等に記載されているものを「経緯」として掲載しています。
- 追悼式に関しては、主催者、関係者から提供を受けた式次第、式辞または挨拶文を基本的に原文のまま掲載しています。
- 追悼施設、追悼式の連絡先に関しては、当報告書の発行時のものを掲載しています。
建立者、管理者、主催者の確認が得られなかったものや連絡先が個人宅の場合は掲載を見合わせています。
- 集計表は平成22年度から平成25年度までの報告書及び当報告書に掲載された追悼施設・追悼式の情報に基づき集計したものです。
- 当報告書の調査、編集は、平成26年6月より同年11月末に行われました。

※ 掲載写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

目 次

北 海 道	1
函館市 1 慰霊碑	2
中川郡 本別町 2 本別町戦没者・戦災死没者追悼式	4
東 北 県	7
一関市 1 平和の碑	8
秋 田 県	11
秋田市 1 秋田県戦没者追悼式・平和祈念式典	12
福 島 県	15
郡山市 1 郡山市戦没者追悼式	16
2 戦災者慰霊の碑	18
東 京 都	21
ひたちなか市 1 ひたちなか市戦没者追悼式	22
東茨城郡 城里町 2 城里町戦没者追悼式	24
群 馬 県	27
前橋市 1 戦災供養塔 親子地藏尊	28
埼 玉 県	31
さいたま市 浦和区 1 埼玉県戦没者追悼式	32
熊谷市 2 慰霊塔	34
川口市 3 英霊記念碑	36
4 川口市戦没者追悼式	37
5 空からの火	38
千 葉 県	41
千葉市 若葉区 1 戦没者戦災死没者之慰霊碑	42
館山市 2 殉國者之墓碑	44
山武市 3 礎	46
4 成東駅爆発惨事の献花式	47
安房郡 鋸南町 5 恒久平和祈念の碑	48
6 市部瀬の惨劇の犠牲者を偲ぶ献花の会	49

東京都	51
千代田区	1 戦災殉難者慰霊碑	52
文京区	2 坂下平和地藏尊	54
台東区	3 三四真地藏	56
	4 今戸延命地藏尊	58
	5 戦災慰霊碑	60
	6 戦災霊供養 地藏大菩薩	62
	7 親子地藏尊	64
墨田区	8 春季・秋季慰霊大法要	66
江東区	9 戦災殉難者供養之碑	68
	10 親子地藏尊	70
	11 八百霊地藏尊	72
	12 延命地藏尊	74
品川区	13 殉職者之碑	76
大田区	14 入新井萬霊地藏尊	78
板橋区	15 空襲犠牲者供養の地藏	80
	16 平安地藏尊	82
葛飾区	17 石出巴之助之墓	84
江戸川区	18 平和観音	86
立川市	19 殉国慰霊碑	88
三鷹市	20 世代をこえて平和を考える日～戦没者追悼式並びに平和祈念式典～	90
町田市	21 町田市戦没者追悼式	92
	22 町田市戦没者合同慰霊塔	94
西東京市	23 戦災者慰霊塔 平和観音	96

神奈川県	99
横浜市 神奈川区	1 横浜戦災者慰霊碑、合掌、戦災遭難者諸霊供養塔	100
南区	2 黄金地藏尊	102
金沢区	3 戦災殉難供養塔	104
川崎市 高津区	4 戦災供養地藏	106

中部 富山県	109
富山市	1 富山県戦没者追悼式	110

長野県	113
安曇野市	1 安曇野市平和のつどい並びに戦没者追悼式	114

岐阜県	117
岐阜市	1 岐阜県戦没者慰霊塔	118
	2 岐阜県戦没者追悼式	119

静岡県	121
磐田市	1 磐田市戦没者・戦災死者追悼式	122
	2 慰霊碑	124

近畿 三重県	127
津市	1 三重県戦没者追悼式	128
桑名市	2 普照	130

滋賀県	133
大津市	1 平和祈念滋賀県戦没者追悼式	134

京都府	137
京都市 山科区	1 慰霊碑	138
舞鶴市	2 舞鶴空襲学徒犠牲者慰霊碑	140

大阪府	143
大阪市 北区	1 大阪府戦没者追悼式	144
旭区	2 兵戈無用	146
貝塚市	3 忠霊塔	148
	4 貝塚市戦没者・戦災死者追悼式	149
八尾市	5 被爆碑	150

兵庫県	153
神戸市 中央区	1 神戸空襲を忘れない いのちと平和の碑	154
明石市	2 山陽電鉄空襲犠牲者之碑	156

和歌山県	159
橋本市	1 橋本駅米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の碑	160
	2 橋本駅米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の集い	161

中 国			
鳥 取 県		163
西伯郡 大山町	1 大山口列車空襲 慰霊の碑	164
	2 慰霊と平和祈念の集い	165
広 島 県		167
竹原市	1 竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典	168
山 口 県		171
山陽小野田市	1 山陽小野田市戦没者追悼式	172
四 国			
香 川 県		175
高松市	1 香川県戦没者追悼式	176
愛 媛 県		179
松山市	1 愛媛県戦没者追悼式	180
九 州			
福 岡 県		183
福岡市 中央区	1 福岡県戦没者追悼式	184
大牟田市	2 大牟田市戦没者追悼式	186
	3 慰霊塔	188
鹿 児 島 県		191
指宿市	1 山川戦没者追悼式	192
	2 戦没学童慰霊之碑	194
霧島市	3 霧島市戦没者追悼式	196
集 計 表		199
正 誤 表		205

北 海 道

1 慰霊碑



※写真提供 青函連絡船殉職者遺族会

基本情報

所 在：函館山登山道と下山道の交差点付近
 住 所：北海道函館市函館山字水元谷1
 (函館市電 青柳町駅 徒歩10分)
 建 立 者：日本国有鉄道職員、有志
 建 立 年：昭和28年8月
 連 絡 先：青函連絡船殉職者遺族会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

(梵字：バク)

【表・下】

昭和二十年七月半頃なりしか青函連絡船への空爆相次ぐ今すなわちこれに殉ぜし僚友の御霊をなぐさむるため碑をたつといふ格調もとよりいふにたらざるも いささか感慨をのべて御霊にささげまつらんとす

潮さいに
 むせび千鳥の
 なく浦み

かなしかえらぬ
 君ししぬばえ

昭和二十八年八月
 日本国有鉄道総裁
 長崎惣之助

【左側面】

慰霊碑

【袖垣】

殉職者氏名

昭和二十年七月十四日
 空襲にて殉職

(故人名)

2 本別町戦没者・戦災死没者追悼式



※写真提供 本別町

開催概要（平成26年度）

歳事名：本別町戦没者・戦災死没者追悼式
 会場：本別町ふれあい交流館
 住所：北海道中川郡本別町向陽町23-1
 （JR帯広駅より 十勝バス「本別南1丁目」下車 徒歩8分）
 日時：平成26年7月15日（火） ※例年7月15日開催
 参加者数：48人
 連絡先：本別町 保健福祉課 社会福祉担当 0156-22-8520（直通）

式次第（平成26年度）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 開会のことば | 5. 追悼のことば |
| 2. 追悼報告 | 6. 追悼電報奉呈 |
| 3. 黙祷 | 7. 献花 |
| 4. 式辞 | 8. お礼のことば |

式辞（平成26年度）

本日ここに 多数のご遺族 並びにご来賓の皆様のご参列を賜り 平成26年度本別町戦没者戦災死没者追悼式を執り行うにあたり 戦没者戦災死没者各位の御霊の前に 謹んで追悼の誠を捧げます

顧みれば 日清日露の戦役から太平洋戦争に至る累次の国難にあたり愛する祖国の平和と独立を完うする国家の要請に応じ 父母肉親の恩愛を断ち 故郷の山河を後にして極寒荒涼の北辺の地に 猛暑灼熱の孤島の前線に そして果てしなく海原続く南海の洋上に ただひたすら国の将来と家族の行く末を案じながら 再び祖国の土を踏むことなく 尊い命を捧げられた方々を思うとき 真に痛恨の極みであります

そのけだかく美しい祖国愛のこころと熱しは 国民崇高的であり我が国平和の礎として燦然と光り輝き 末永く後世に伝えられるものと信ずるものであります

また終戦をわずか一ヶ月前にして あの凄まじい空爆の犠牲となられた尊霊には いかにか戦時のことはいえ悲痛の念が強く胸に迫るのを禁じ得ません

その悪夢のような大戦が終わりを告げてから 69年の長い歳月が流れ 改めて 最愛の肉親を犠牲になされたご遺族皆様方におかれましては 戦後の厳しい荒れ果てた世相の中から今日までの長い間深い悲しみに耐えながら多くの困難を克服してこられましたことに心から敬意を表します

わが国は 尊霊の厚いご加護と ご遺族皆様をはじめ 国民のたゆまぬ努力によって こんにち世界においても類例のみない経済大国 平和で豊かな福祉国家として発展してまいりました

また 郷土本別にありまして ご遺族はじめ町民各位の日夜をわかつた努力によって 飛躍的な発展を続け 旧跡をとどめぬまでに変貌をとげ さらに尚一層の繁栄が期待されます

時の流れは ともすれば悲惨な戦争の記憶を風化させ 平和の尊ささえ忘れさせようとしています

しかし事情はいかにあれ 国際社会では現在もお武力による紛争が続いていることを考えますとき 今こそ真剣に恒久平和の実現に努めなければなりません

あの悲惨な歴史を二度と繰り返さないよう 町民と共に決意を新たにすることが 後に残り今に生きる者に課せられた責務であり 尊霊にお応えできる最上の勤めであると信ずるものであります

本日 私はこの式典に臨み 今日この平和で豊かな本別の礎として 戦没された方々の尊い犠牲があったことを 決して忘れることなく 今後とも先人が築き上げてきた郷土を守り育て 誰もが安心して生活できる 地域社会づくりの一層の推進を図り 夢と誇りをもてるまちづくりを全力を注いでまいりますことを 固くお誓い申し上げます

結びに 戦没者 戦災死没者各位の御霊が とこしえに安らかならんことをお祈り申し上げますとともに ご遺族並びにご参列の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ 式辞といたします

平成26年7月15日
 本別町戦没者戦災死没者追悼式
 執行委員長 本別町長 高橋 正夫

岩 手 県

1 平和の碑



基本情報

所 在：一関文化センター
 住 所：岩手県一関市大手町2-16
 (JR一関駅 徒歩5分)
 建 立 者：建立実行委員会
 建 立 年：平成2年12月8日
 連 絡 先：一関市 保健福祉部 児童福祉課 福祉総務係 0191-21-8357 (直通)

碑 文

【表】

平和
 一九四五年八月十日朝
 の空襲で市民三十四名
 が非命に倒れました。
 今日平和のかけに遺
 された痛恨の事実を刻
 み、再び戦争があつて
 はならないという誓い
 をこめて建立します。

【裏】

1990. 12. 8 建立
 建立委員長 小野寺喜得
 母子像制作 小野寺玉峰
 石柱台座製作 菊池正悦

秋 田 県

1 秋 田 県 戦 没 者 追 悼 式 ・ 平 和 祈 念 式 典



※写真提供 秋田県

開 催 概 要 (平成26年度)

歳 事 名 : 秋田県戦没者追悼式・平和祈念式典
 会 場 : 秋田県民会館
 住 所 : 秋田県秋田市千秋明徳町2-52
 (JR秋田駅より 秋田中央交通「千秋公園入口」下車 徒歩3分)
 日 時 : 平成26年10月16日(木) ※例年10月 第3金曜日開催
 参 列 者 数 : 1,300人
 連 絡 先 : 秋田県 健康福祉部 福祉政策課 018-860-1318 (直通)

式 次 第 (平成26年度)

- | | |
|--|----------------|
| 1. 拝 礼 | 6. 献 花 |
| 2. 国 歌 斉 唱 | 7. 追 悼 電 報 紹 介 |
| 3. 黙 と う | 8. 平 和 祈 念 宣 言 |
| 4. 式 辞…秋田県知事 佐竹敬久 | 9. 追 悼 合 唱 |
| 5. 追 悼 の こと ば…秋田県議会議長 能登祐一
戦没者遺族代表 大館市 山内鉦一 | 10. 拝 礼 |

式 辞 (平成26年度)

本日、ここに、多くの戦没者の御遺族並びに来賓の皆様をお迎えし、秋田県戦没者追悼式・平和祈念式典を挙行するにあたり、先の大戦で亡くなられた方々の御霊に対し、謹んで哀悼の意を表します。

先の大戦から69年の歳月が過ぎましたが、祖国を想い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に倒れ、戦禍に遭われ、あるいは戦後、遠い異境の地に亡くなられた方々の御無念を思うとき、誠に哀惜の念に堪えません。ここに、改めて、戦没者の方々の御冥福を心からお祈り申し上げます。

また、愛する家族を失われた御遺族の皆様深い悲しみと、戦中戦後の長きにわたる御労苦を思うとき、今なお痛恨の情が胸に迫ってまいります。癒やされることのない悲しみの中、言葉にしきれない苦難を乗り越えてこられた御遺族の皆様に対し、心から敬意を表します。

戦後、本県は、県民の懸命の努力によって、幾多の困難を克服し発展してまいりましたが、現在私たちが享受している平和と繁栄は、戦争によってかけがえのない命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれていることを、決して忘れてはなりません。

今日では、戦争を経験していない世代が多数となりましたが、平和で豊かな今こそ、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、戦争のもたらす悲惨さと平和の大切さを、次の世代に語り継いでいくことが、今を生きる私たちに課せられた責務です。

この式典に当たり、先の大戦から学び取った多くの教訓を、改めて深く心に刻み、世界各国と友好関係を築きながら、恒久平和の確立に貢献するとともに、心豊かに安心して暮らすことができる「ふるさと秋田」を実現するため、全力を尽くすことをお誓いいたします。

結びに、戦没者の御霊の安らかならんことを、そして御遺族の皆様御健勝を心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成26年10月16日
 秋田県知事 佐竹 敬久

福 島 県

1 郡山市戦没者追悼式



※写真提供 郡山市

開催概要（平成26年度）

歳事名：郡山市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：郡山市民文化センター 中ホール
 住所：福島県郡山市堤下町1-2
 （JR郡山駅より 福島交通バス「市民文化センター」下車 すぐ）
 日時：平成26年10月22日（水） ※例年10月下旬開催
 参列者数：約500人
 連絡先：郡山市 保健福祉部 社会福祉課 024-924-2611（直通）

式次第（平成26年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…郡山市長
5. 追悼のことば…郡山市議会議長、遺族代表
6. 献花
7. 閉式のことば

式辞（平成26年度）

本日ここに、多くの御遺族並びに御来賓の皆様をお迎えして、「平成26年度郡山市戦没者追悼式」を執り行うにあたり、先の大戦においてかけがいのない命を捧げられた郷土の戦没者4,600余柱の御霊に謹んで追悼の誠を捧げます。

今を去る、69年前、祖国の安泰と家族の将来を案じつつ、故郷郡山に別れを告げ、苛烈を極めた戦いの末、心ならずも戦場に倒れ、あるいは戦後、遠い異郷の地で亡くなられた方々の無念さはいかばかりであったかと、万感胸に迫る思いでございます。

今日の私たちが享受している平和と繁栄が、戦没者の皆様の尊い犠牲の上に築かれたものであることは、永遠に忘れてはならないものであります。

御遺族の皆様におかれましては、時を越えてもなお癒されることのない深い悲しみの気持ちがよみがえってこられることと思います。また、その後の、言葉では言い尽くすことができない幾多の苦難を乗り越え歩いてこられた御労苦に対し、改めて心からねぎらいを申し上げる次第であります。

さて、本市は、今年、市制施行90周年・合併50年の節目の年を迎えました。戦後の混乱期を力強く乗り越え、現在では、東北有数の都市として躍進を続けておりますが、これらは、先人の御努力の賜物であり、深甚なる敬意を表するものであります。

現在、東日本大震災とその後発生した原子力災害からの復興の途上にありますが、本市の繁栄と発展を願い続けた戦没者の皆様のためにも、郡山の復興と更なる発展により一層努めてまいることが霊前に固くお誓いたします。

戦没者各位の御霊には、今後ともふるさと郡山の繁栄と平安を見守り給い、永久に安らかならんことを心からお祈り申し上げます。

終わりに、御遺族の皆様方のお変わることのない深い悲しみに思いを致すとともに、末永い御平安と御健勝をお祈り申し上げ式辞といたします。

平成26年10月22日
 郡山市長 品川 万里

2 戦災者慰霊之碑



基本情報

所 在：常傳寺
 住 所：福島県郡山市横塚1-15
 （JR郡山駅より 福島交通バス「横塚二丁目東」「横塚」下車 徒歩5分）
 建 立 者：大越福、遺家族
 建 立 年：昭和42年9月
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【表】

戦災者慰霊之碑

大東亜戦争の末期昭和二十年四月十二日米空軍
 B29 数拾機が来襲し郡山東部工業地帯を爆撃せ
 り 吾が横塚部落もその爆撃下にさらされ部落
 全域に近き被害をうけその大半を破砕焼失
 二十二柱の尊い犠牲者を出せり その二十三回
 忌に当り当横塚出身者群馬県太田市在住大越福
 氏の浄財の寄進と遺家族の協力により茲に慰霊
 碑を建立 御霊の冥福を祈念する

昭和四十二年九月

遺家族代表 大越要吉誌す

(故人名)

(寄贈者・発起人・筆蹟人)

茨 城 県

1 ひたちなか市戦没者追悼式



※写真提供 ひたちなか市

開催概要（平成26年度）

歳事名：ひたちなか市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：那珂湊総合福祉センター（しあわせプラザ）ふれあい交流館ホール
 住所：茨城県ひたちなか市南神敷台17-6
 （ひたちなか海浜鉄道 那珂湊駅より 茨城交通バス「しあわせプラザ前」下車 徒歩1分）
 日時：平成26年8月20日（水） ※例年8月開催
 参列者数：約300人
 連絡先：ひたちなか市 福祉部福祉事務所 社会福祉課 029-273-0111（代表）

式次第（平成26年度）

1. 開式の辞…ひたちなか市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…ひたちなか市長
5. 追悼の辞…ひたちなか市議会議長、ひたちなか市遺族会会長、茨城県知事、茨城県遺族連合会理事長、茨城県議会議員
6. 献花
7. 閉式の辞

式辞（平成26年度）

本日ここに、ご遺族並びにご来賓各位のご臨席を仰ぎ、平成26年度ひたちなか市戦没者追悼式を挙行するにあたり、ひたちなか市民を代表いたしまして、式辞を申し上げます。

先の大戦において、祖国の将来と家族の平安を案じつつも国難に殉じられた戦没者、並びに艦砲射撃や空襲による戦禍の犠牲となられた死没者、併せて1812柱の本市関係の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

また、ご遺族各位におかれましては、深い悲しみと苦しみの中、幾多の困難を乗り越えながら、我が国の平和と繁栄のためにご尽力されておりますことに対し、衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

先の大戦の終結から69年の歳月が過ぎ、我が国は御霊のご加護と国民の英知と努力により、平和国家として目覚ましい発展を遂げてまいりました。

我がひたちなか市も、豊かな自然環境と、ものづくりを基本とする産業力や、幅広い分野での市民力を活かしつつ、大いなる発展可能性を有するまちとして、着実に歩みを続け、本年誕生20周年を迎えます。

我が市は、行政、市民を挙げて、東日本大震災からの本格的な復興と将来に向けての新たな飛躍を目指しているところでありますが、この節目の年にあたり、改めて、今日の平和や豊かさが、先人達の絶え間ない努力の上に成り立ち、如何に尊いものであるかを、痛感しているところであります。

一方、世界に目を向ければ、国家や地域、民族間等の緊張関係が絶えることなく、それらがしばしば紛争やテロへと繋がり、世界平和の実現に大きな脅威となっております。

私たちは、こうした現実に向かってしっかりと目を向け、国際社会の相互理解に努めながら、戦争等の悲劇を再び繰り返すことのないよう、平和の尊さを子々孫々にまで伝えていくことを、ここに改めてお誓い申し上げます。

そして、かけがえない郷土ひたちなか市のさらなる発展こそが、御霊に報いる道であると考え、今後とも市政において、自立と協働を基本理念として、「誰もが暮らしたくなる、元気なひたちなか市」の実現を目指していくことを、決意する次第であります。

終わりに、御霊の安らかなるご冥福と、ご遺族の皆様のご多幸、ご健勝を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。

平成26年8月20日
 ひたちなか市長 本間 源基

2 城里町戦没者追悼式



※写真提供 城里町

開催概要（平成26年度）

歳事名：城里町戦没者追悼式 ※一般戦死没者を含む
 会場：コミュニティセンター城里
 住所：茨城県東茨城郡城里町石塚1428-1
 （JR水戸駅より 茨城交通「城里町役場入口」下車 徒歩5分）
 日時：平成26年10月29日（水） ※例年10月開催
 参列者数：約100人
 連絡先：城里町 健康福祉課 029-288-3111（代表）

式次第（平成26年度）

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…城里町長
5. 追悼の辞…城里町議会議長、茨城県知事、茨城県遺族連合会理事長、城里町遺族会会長
6. 献花
7. 閉式の辞

式辞（平成26年度）

本日ここに、平成26年度城里町戦没者追悼式を、挙行するにあたり町民を代表して、謹んで敬弔の誠を捧げます。

今年は先の大戦が終結して69年目を迎えましたが、祖国のために殉じられた872柱の御英霊に対し心から哀悼の誠を捧げ城里町民の福祉向上にむけて決意を新たにします。

いま招魂の英霊872柱は国家の大事に際し勇躍征途につかれ筆舌に尽くし難いあらゆる苦難に耐え一意専心祖国護持の大任を果たしたのでありますが、武運つたなく護国の御柱として散華されたのであります。

ただただ、哀惜の情にたえません。しかしながら各位の崇高なる御精神の賜により国家の滅亡をまぬがれ今日かくのごとき経済、文化、教育等あらゆる復興をみることができましたことを思うとき、各位の尊い犠牲に対し心から感謝の念を禁じ得ないものがあります。

また、御家族各位には、一家の中心を失い物心両面の困窮の中にも、あらゆる障害をのりこえ雄々しく精進されて激動の昭和が終わり、平成へと大きく発展を遂げながら新しい時代を迎え得ましたことは、私たちの大きな感激でありまして、及ばずながら今後もこれまでと変わることなく町民相携えて御遺族の方々を温かく御護りする覚悟を新たにします次第でございます。

本年度は城里町が発足して10年目を迎え、町民福祉の増進と文化生活的の向上など新しい時代を創造しながら大いにみるべきものがあり、町政の進展もまた目覚ましいところであります。

2万有余の町民が心一つにして決意を新たに、町政発展に渾身の努力を傾注し、尊い各位の犠牲に御報いする覚悟であります。

今後とも御遺族、御一家の御繁栄と御両親、御兄弟に対しては、百歳の寿ぎも永としない御加護をお願いして敬弔の誠を捧げ、限りなき御冥福を御祈り申し上げますと共に、御遺族の 皆様の御多幸と御健勝を請い願ひ追悼の式辞といたします。

平成26年10月29日
 城里町長 上遠野 修

群馬県

1 戦災供養塔 親子地藏尊



基本情報

所 在：教徳寺
 住 所：群馬県前橋市城東町2-12-11
 (上毛電鉄 中央前橋駅 徒歩4分)
 建 立 者：教徳寺
 建 立 年：昭和26年8月5日(平成元年8月5日改修)
 連 絡 先：教徳寺 027-231-9365

碑 文

【台座・上 表】

戦災供養塔

【台座・上 裏】

平成元年八月五日改修建立

【台座・下 表】

教徳寺

由 来

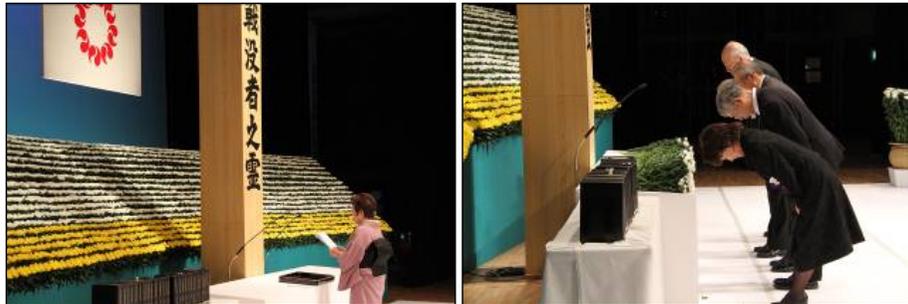
親子地藏尊

この地藏尊は、昭和二十年八月五日前橋空襲の時旧栄町、諏訪他に八名の無縁仏があった。その中に幼ない子供をしっかりと抱えた母親の死体があり人々の涙を誘ったことから三ヶ町有志の発案により昭和二十六年八月五日親子地藏尊として建立された。

教徳寺現住章友合掌

埼 玉 県

1 埼玉県戦没者追悼式



※写真提供 埼玉県

開催概要 (平成26年度)

歳事名：埼玉県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：埼玉会館 大ホール
 住所：埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
 (JR浦和駅 徒歩6分)
 日時：平成26年11月7日(金) ※例年11月頃開催
 参列者数：1,116人
 連絡先：埼玉県 福祉部 社会福祉課 048-824-2111 (代表)

式次第 (平成26年度)

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1. 開式 | 6. 追悼の言葉…県議会議長、市町村代表
遺族代表 |
| 2. 拝礼 | 7. 献花 |
| 3. 君が代斉唱 | 8. 電報披露 |
| 4. 式辞…知事 | 9. 閉式 |
| 5. 黙とう | |

式辞 (平成26年度)

本日ここに、戦没者御遺族並びに長峰宏芳埼玉県議会議長をはじめ、本県選出の国会議員、埼玉県議会議員、市町村長など多くの皆様の御列席のもと埼玉県戦没者追悼式を挙行するに当たり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

4万8千を超える、埼玉県出身の方々の尊い命が犠牲となった先の大戦が終わりを告げてから、69年の歳月が過ぎ去りました。

望郷の念を胸に、酷寒の大陸や灼熱の島々で亡くなられた方々、あるいは県内であって、空襲などの戦禍に遭われて無念のうちに亡くなられた全ての方々に、心から御冥福をお祈り申し上げます。

戦後、我が国は、戦争がもたらした幾多の悲しみと苦しみを教訓として、平和国家への道を歩み、発展を遂げてまいりました。

私たちのふるさと埼玉も、人口723万人の活力と魅力と可能性に満ちあふれた県として、力強い発展を続けております。

終戦の年に10歳以上だった方は、今や埼玉県民のわずか5.7%となってしまいました。戦後の長い年月の中で、社会から戦争体験の記憶が薄れていき、平和は当たり前のもので受け取られています。

今日の平和と繁栄が、戦没者の方々の尊い犠牲と、御遺族の皆様の御努力の上に築かれたものであることを、私たちは片時も忘れてはなりません。

しかしながら、世界に目を向ければ、紛争による戦火は絶えることなく、テロの脅威は常に市民生活を脅かしています。

また、我が国の周辺においても、日本固有の領土に対する他国からの領有権の主張や北朝鮮による拉致問題などが、平和に大きな影を落としています。

平和はただ祈っているだけでは決して実現しません。多くの苦労と不断の努力の結晶であり、注意深く守り育てていかななくてはならないものです。

私たちに、平和を守っていくことの大切さを、戦争を経験された方々とともに語り継ぎ、次の世代に引き継いでいく責任があります。

レイテ島でお父様を亡くされ、今年の全国戦没者追悼式に参列された県内のある御遺族は「父をはじめ、多くの犠牲者のおかげで今の平和がある。戦争は二度としてはいけない。ただ、戦没者追悼式は末永く続けて欲しい。それが戦死者に対する礼儀であり、平和につながると思う」と述べられています。

私たちは、このような御遺族の想いをしっかりと受け止め、戦没者追悼の意義を未来へ向けて伝えていかななくてはなりません。

そして、戦没者の方々が心から願い、御遺族の皆様が懸命に築いてこられたこの平和を、これから先も末永く守り抜いていかななくてはなりません。

私は、平和な社会を将来にわたって守り続け、埼玉と日本の更なる発展のために全力を尽くすことを、改めて、ここに固くお誓い申し上げます。

結びに、御霊のとこしえに安らかならんことを心からお祈り申し上げますとともに、御遺族をはじめ御参列の皆様のお多幸と御健勝を祈念申し上げますとさせていただきます。

平成26年11月7日
 埼玉県知事 上田清司

2 慰霊塔



基本情報

所 在：荒川公園
 住 所：埼玉県熊谷市河原町2-173
 (JR熊谷駅 徒歩5分)
 建 立 者：熊谷市慰霊塔建設協力委員会
 建 立 年：昭和37年3月
 連 絡 先：熊谷市 福祉部 福祉課 048-524-1111 (代表)

※一般戦災死死者を含む

碑 文

【表】

慰霊塔

【裏】

工事記録

起 工 昭和三十六年十二月
 竣 工 昭和三十七年三月
 工 費 金四百七拾萬圓也
 建設管理 熊谷市 建築課
 施 工 株式会社小林組

慰霊塔の規模

構 造 鉄筋コンクリート造
 塔の高さ 一五・五米
 述 面 積 二八一二平方米

【右】

建立の経緯

西南の役より太平洋戦争に至る戦役事象において祖国日本の安危を担い勇躍征途につかれ果なき曠野に怒濤逆巻くわだつみにあるいは乱雲の天空にその勲も高く散華せられた本市出身軍人軍属一千九百余柱の英霊を追悼しここに招魂鎮祭の願いを果さんとする

昭和二十年八月終戦の混乱と廃脱の中にあつて祖国再建の悲願に燃え世界恒久の平和を念じてここに十有七星霜今や新日本として飛躍的な発展を遂げ本市も又大熊谷への進展の冥途を辿りつつある時殉國の英霊に對する追慕の情いよいよ深く市民の総意として英霊の冥福を祈念しその功績を永吉に傳うるに足る慰霊塔建立の議が發願されるに至つたことにおいて本市は昭和三十六年一月熊谷市慰霊塔建設協力委員会を設置し市遺族會の寄附金を始め広く市民の浄財を市費とをもつて名勝櫻堤のあたり遠く秩父連峯を望むこの地をとし昭和三十六年十二月起工本年三月その完成をみたのである

我等は今この聖塔を前にして英霊の遺志を顕彰し人類の平和と國家の興隆を念じ郷土の發展とご遺族の援護に一層の努力を誓う次第である願わくは諸霊とこしえに鎮まりご遺族と全市民に加護を給わらんことを

ここに建立の経緯を略記しもつて後世に傳えんとする

昭和三十七年三月

熊谷市長 栗原正一撰
 岡 翠雪書

3 英霊記念碑



基本情報

所 在：川口市青木町平和公園
 住 所：埼玉県川口市西青木4-8-1
 (JR西川口駅 徒歩12分)
 建 立 者：川口市英霊記念碑建設委員会
 建 立 年：昭和33年中秋
 連 絡 先：川口市 福祉部 福祉総務課 社会係 048-259-7647 (直通)
 ※一般戦災死没者を含む

碑 文

川口市
 英霊記念碑
 昭和三十三年

説 明 文

この英霊記念碑は日清・日露の戦役から太平洋戦争までの川口市出身の戦没者二千有余柱の霊を祀り併せて人類の永遠の平和を祈念し昭和三十三年に建立したものです。

記念碑のデザインは戦没者の方々のご冥福をお祈りするとともに恒久平和への希望を表した公募作品の中から選ばれ川口の鋳物技術を用い一体ぶきの鋳造碑として製作されました。

川口市

4 川口市戦没者追悼式



※写真真提供 川口市

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名：川口市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会 場：川口市青木町平和公園 英霊記念碑前
 住 所：埼玉県川口市西青木4-8-1
 (JR西川口駅 徒歩12分)
 日 時：平成26年10月11日(土) ※例年10月中旬開催
 参 列 者 数：153人
 連 絡 先：川口市 福祉部 福祉総務課 社会係 048-259-7647 (直通)

式 次 第 (平成26年度)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 開 式 の 辞 | 5. 黙 と う |
| 2. 拝 礼 | 6. 献 花 |
| 3. 国 歌 斉 唱 | 7. 閉 式 の 辞 |
| 4. 追 悼 の こと ば | |

式 辞 (平成26年度)

本日ここに、ご遺族、ご来賓の皆様のご参列を賜り川口市戦没者追悼式を挙行するにあたり、先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対し、58万市民を代表いたしまして謹んで追悼のことばを申し上げます。
 終戦から早くも69年という歳月が過ぎ去りましたが、今静かに苦難と悲しみに満ちた当時を偲ぶとき、この胸の痛みは去ることなく、私たちを祈りへと駆り立ててやみません。

顧みすればあの苛烈を極めた戦いの中で300万の方々が、凍てつく極寒の荒野で、また灼熱の南方の地で祖国を思い、愛する家族の安泰を念じながらも、傷つき、倒れ、あるいは戦後に至るまで異郷の地に残され、飢えや病に苦しみながら帰らぬ人となられました。ここに戦没者の方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、衷心より感謝の誠を捧げたいと存じます。

また、最愛の内親に先立たれたご遺族の皆様、そして戦争が心や身体に残した傷に今も苛まれている方々が、深い悲しみの中で歩まれた半世紀を越える今日までの苦難の日々とそのご苦労に対し、深甚なる敬意を表する次第でございます。

戦後、我が国は戦争によりもたらされた苦しみと悲しみへの深い反省から、敢然として平和への道を歩み、国民のためめぬ努力により平和で豊かな社会を築くことができました。

しかし、現在私たちが享受しているこの平和と繁栄が、心ならずも戦争によってかけがえのない命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれていることを、私たちは瞬時も忘れてはなりません。

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらしました東日本大震災の発生から、3年半が経過しました。今なお多くの人々が住み慣れた地域から離れることを余儀なくされ、自らの家に帰還する見通しが立っていない人々が多いことを思うと心が痛みます。戦後の廃墟から立ち上がり、今日まで幾多の困難を乗り越えてきた私たちは、一人ひとりの努力によりこの大震災からも復興に向けて懸命に努力し続けてきました。

そして、今日においてこそこうした大災害の歴史と共に過去と謙虚に向き合い、悲惨な戦争の史実を風化させることなく、次の世代に語り継いでゆくことが、戦没者の方々の思いに応える途であると確信するものであります。

昭和8年4月1日、人口約4万6千人の川口市が誕生し、伝統の鋳物・植木・釣竿をはじめとする幅広い産業と、市民のためめぬ努力に支えられ、県下随一の近代産業都市として著実に発展を遂げ、豊かな地域社会をつくって参りました。

このことは、先人の方々による不断の努力と精進、そして熟意の賜物であります。

私たちは、この歴史を重く受け止め、「青木町平和公園」で戦争の惨禍を二度と繰り返してはならないという固い決意を深く心に刻み、歩んでまいりたいと存じます。

そして、恒久平和の願いを胸に、市民一人ひとりが輝き、夢と希望と元気を持ち続けることのできる社会の実現のため、これからも全力を尽くしてまいりますことを、御霊の前に固くお誓い申し上げます。

結びに戦没者の御霊の安らかならんことを心からお祈りし、ご遺族の皆様のおなごお変わりすることのない深い悲しみ、苦しみに思いを致しますとともに、ご参列の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げまして、追悼のことばといたします。

平成26年10月11日
 川口市長 奥ノ木 信夫

5 空からの火



基本情報

所 在：鎌倉橋記念緑地
 住 所：埼玉県川口市本町1-8
 （JR川口駅より 国際興業バス「荒川大橋」下車 徒歩5分）
 建 立 者：岩田 健
 建 立 年：昭和59年
 連 絡 先：川口市 都市計画部 公園課 048-242-6337（直通）

碑 文

【表】

空からの火 作・岩田 健

川口の母は二度、荒川の土手の上って震えながら、真赤に燃え上る東京の空を見つめたことがあります。大正十二年の関東大震災と、昭和二十年の東京大空襲です。ことに後者の三月十日の下町の大空襲の時にはB29一機が今のオートレース場に墜落、また四・五月には川口のところどころに焼夷弾の雨が降り、王子方面から被弾した一機が爆弾を垂れこぼしながら、火だるまになってこの上空を覆いかぶさり、原町に墜落炎上しました。

夫や我が子を兵隊にとられ、母は必死で幼な子を守りました。その母たちの思いを忘れぬよう、再びあの業火を見ることのないようにと祈りをこめて、この像を建てました。

【裏】

作・岩田健

千葉県

1 戦没者戦災死没者之慰霊碑



基本情報

所 在：千葉市桜木霊園
住 所：千葉県千葉市若葉区桜木1-38-1
(JR千葉駅より 京成バス「市営霊園」下車 徒歩1分)
建 立 者：千葉市
建 立 年：昭和48年2月28日
連 絡 先：千葉市 保健福祉局 地域福祉課 043-245-5218 (直通)

碑 文

【表】

戦没者戦災死没者之慰霊碑

【裏】

昭和四十八年二月二十八日建立

千葉市

2 殉國者之墓碑



基本情報

所 在：川崎安房堂内
 住 所：千葉県館山市正木1394-1
 （JR館山駅より 館山日東バス「川崎」下車 徒歩5分）
 建 立 者：川崎青年団
 建 立 年：昭和34年8月
 連 絡 先：川崎地区町内会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

殉國者之墓碑

千葉県知事 柴田 等

【裏】

我等川崎青年團は満州事変日華事変及び太平洋戦争等に於て皇國のため殉じた郷區先輩の靈を慰め尚戦列に加はらない被爆區民の靈をも併せ弔ひその冥福を祈ると共に爾後平和を脅かす戦争の惨禍と人命尊重の本義に立つて再びかゝる過を繰返すことのなきを願ひ団員一同の奉仕と熱意とを以てこの墓碑を建立する

昭和三十四年八月 川崎青年團

【靈標板】

川崎地區太平洋戦争犠牲者

（戦没者 個人名）

昭和二十年五月十九日空襲をうけ二十餘
個の爆弾による川崎地區内死亡者

（戦災戦没者 個人名）

鈴木貞良書

3 礎



基本情報

所 在： JR成東駅舎前
 住 所： 千葉県山武市津辺305
 (JR成東駅すぐ)
 建 立 者： 日本国鉄職員有志
 建 立 年： 昭和32年8月13日
 連 絡 先： 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 043-284-6833 (代表)

碑 文

【表】

礎

【裏】

昭和二十年八月十三日
 十一時五十八分米グラ
 マン機の機銃掃射により
 成東駅停留中の弾薬積
 載貨車誘発 鉄道職員
 十五名将兵二十七名瞬
 時にして散華し平和の
 礎と化す
 昭和三十二年八月十三日建之

由 来

礎について

昭和二十年八月十三日敵機グラマンの攻撃を受け成東駅構内下り一番線に停留中の軍弾薬積載貨車は十一時四十分、火煙を發した。之を認めた国鉄職員十五名将兵二十七名は、被害を最小限度に止めようと機を失せず、身を挺して貨車の隔離消火に努め、一方旅客及び町民を避難

させたが、必死の健闘も空しく十一時五十八分弾薬はついに爆発して全員、悉く壮烈な最後を遂げ、平和の礎と化しました。昭和三十二年八月、十三回忌にあたりその功績を称え町民並びに鉄道職員を初め、多数の方々の御支援によりここに礎の碑を建立せられました。

4 成東駅爆発惨事の献花式



※写真提供 東日本旅客鉄道 千葉支社

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名： 成東駅爆発惨事の献花式
 会 場： JR成東駅 礎の碑前
 住 所： 千葉県山武市津辺305
 (JR成東駅すぐ)
 日 時： 平成26年8月13日(水) ※例年8月13日開催
 参列者数： 30人
 連 絡 先： 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 043-284-6833 (代表)

式 次 第 (平成26年度)

1. 司 会 者 挨拶…新妻成東駅長
2. 参 列 者 挨拶…東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 石川社長、山武市 椎名市長、山武市議会 小川議長
3. 献 花
4. 黙 祷

概 要

敗戦わずか2日前の昭和20年8月13日、国鉄総武本線の成東駅下り貨物線に到着した貨車6輛のうち、4車輛には偽装網に隠された高射砲4門と、2車輛に弾薬が積載されていた。その日は早朝から空襲警報が発令され、米海軍機動艦隊艦載機による機銃掃射の攻撃が絶え間なく続き、特に成東駅への攻撃は、執拗なまでの激しい攻撃であったそうです。

そして午前11時40分頃、グラマンF6F戦闘機4機による機銃掃射で、1輛の弾薬貨車が引火、激しく煙をあげはじめた。駅長以下の国鉄職員と駅の要請により、駆けつけた九十九里沿岸防備の近衛第3師団近衛歩兵第8連隊第3824部隊の将兵たちは、弾薬爆発と機銃掃射の危険のなか、必死に消火作業に努めたが、火勢は一向に衰えをみせなかったため、最後の手段として引火貨車を切り離し、弾薬貨車を駅の構外(松尾方面)へ機関車で牽引して、住民や駅待機の乗客、民家や駅舎などを爆発の被害から守ろうとしましたが、午前11時58分頃、弾薬貨車は大音響とともに爆発し、駅舎も貨車もすべて吹き飛ばされ、懸命に消火作業をしていた駅職員15名、範部隊将兵24名、将兵3名、計42名の尊い命も失いました。

殉職した駅職員の中には14歳の少年職員や、若い女性職員など20歳未満の職員が9名おりました。

この惨事の体験者が少なくなる中、今に生きる私たちが、平和の尊さ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、惨事を風化させない思いを込めまして、献花式を執り行います。

5 恒久平和祈念の碑



基本情報

所 在： J R内房線 安房勝山駅～岩井駅間 南西側
 住 所： 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 市部瀬
 (J R安房勝山駅 徒歩20分)
 建 立 者： 明日の鋸南町を考える会、賛同者有志
 建 立 年： 平成23年5月8日
 連 絡 先： 明日の鋸南町を考える会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

恒久平和祈念の碑

【裏】

昭和二十年五月八日 安房勝山駅午前十一時五十分発下り列車が市部瀬を通過中 米軍機の機銃掃射をうける

死 者 十 三 名
 負 傷 者 四 十 六 名

この惨事を 碑に記し 後世に伝える
 平成二十三年五月八日

明日の鋸南町を考える会
 賛同者有志 建立

6 市部瀬の惨劇の犠牲者を偲ぶ献花の会



※写真提供 明日の鋸南町を考える会

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名： 市部瀬の惨劇の犠牲者を偲ぶ献花の会
 会 場： 恒久平和祈念の碑 前
 住 所： 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 市部瀬
 (J R安房勝山駅 徒歩20分)
 日 時： 平成26年5月8日 (木) ※例年5月8日開催
 参 列 者 数： 60人
 連 絡 先： 明日の鋸南町を考える会 個人宅のため記載せず

式 次 第 (平成26年度)

1. 開 会
2. 挨拶…明日の鋸南町を考える会 安藤恵美子会長
3. 献花
4. 閉 会

式 辞 (平成26年度)

2000年の秋『明日の鋸南町を考える会』が誕生し、鋸南町について話し合い、考え、活動を続けるうちに戦争と平和についても考えるようになりました。鋸南町にも市部瀬の列車銃撃事件のような悲惨なことが起きていたことを知らない人が多いことがわかりました。そこで、戦後65年を機会に2010年5月8日、65年前を偲んで市部瀬の列車銃撃事件の現場で献花をし、参加者と話し合いたいと思いました。そして列車銃撃事件を語り継ぐために現場に木の柱でも建てたいと募金活動を計画しました。祈念碑建立委員会を立ち上げ、改めて募金をして多くの方々のご協力を頂き2011年5月8日に『恒久平和祈念の碑』の除幕をすることが出来ました。

ここで多くの犠牲者が出た列車銃撃事件があったこと、この犠牲を無にだけはいけない。本当に平和な世の中を築いていかなければならないと活動を続けて参りました。

戦争も平和もみんな一人ひとりの心の中から生まれてくるものだと考えております。誰でも十分に話し合い相手の気持ちを受け入れ、許し合い愛し合っていくところに平和は生まれてくると思います。

難しいことですが、日々の生活の中で互いに許し合い愛し合って平和を創っていきたく願います。

明日の鋸南町を考える会
 会長 安藤 恵美子

出典：「平和の願い」より抜粋

東京都

1 戦災殉難者慰霊碑



基本情報

所 在：佐久間公園
 住 所：東京都千代田区神田佐久間町3-21
 (JR浅草橋駅 徒歩5分)
 建 立 者：秋葉原東部連合町会
 建 立 年：昭和32年3月9日
 連 絡 先：佐久間町三丁目町会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

戦災殉難者慰霊碑

鳩山一郎書

【裏】

大東亜戦争ようやく終局に近く 大編隊による空襲は夜を日についで苛烈をきわめ 遂に浅春風未だ寒き昭和二十年三月九日夜半 大東京一圓 空前絶後の大空襲を蒙り この地秋葉原東部地区も亦免るの能はず 沛雨にも似る焼夷弾と 焔風に乗る紅蓮の火焰は 阿修羅を現じ 阿鼻叫喚 酸鼻の巻と化す 時に当地區警防團を主体とし 老若男女擧げて防火警防につとめ 死力を尽して この地の防災に當ると雖も 精竭き根はて 劫火に其身を焼き其の命をおわる これを想起するに悲痛窮りて言をなさず 嗚呼 この悲壯にして崇高なる精神は何に由来するものぞ そは嘗つての日即ち大正十二年九月一日の関東大震災の際町民一体となして この地を災火より防守したる 社會連帯の郁々たる精神に根源する 茲に難に殉げる四百余の靈を慰め 永久に其犠牲の精神を傳へ 世の指標となすため 十三回忌を期し 神田川畔に建立の供養塔を此地に移し 秋葉原東部連合町會 傳統の志を舒べて記念とする

昭和三十二年三月九日 秋葉原東部連合町會建之

佐久間町三丁目町會
 和泉町町會
 佐久間町二丁目平河町會
 佐久間町四丁目町會
 佐久間町一丁目町會
 松永町町會
 元久右衛門町一丁目町會
 元久右衛門町二丁目町會
 八名川町町會
 練堀町町會
 神田川米穀市場組合

2 坂下平和地藏尊



基本情報

所 在：千駄木3丁目交差点付近
 住 所：東京都文京区千駄木3-43-1付近
 （東京メトロ 千駄木駅 徒歩2分）
 建 立 者：有志一同
 建 立 年：昭和34年
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

なし

由 来

「坂下平和地藏尊」

由来の記

一九四五年（昭和二〇年）三月四日朝、アメリカ空軍 B29 によって、この地域の千駄木・谷中に多数の爆弾が投下され、大きな被害を受けました。死者五〇〇人以上といわれています。

この地には、銭湯「鹿島湯」があり、石炭貯蔵庫を防空壕に使用していました。同銭湯に爆弾が投下し、防空壕に入っていた赤ちゃんを含む二三人の方が犠牲になりました。

一九五九年（昭和三四年）、この方々の冥福と戦争を二度と起こさぬことを誓い、近所の人々によって、この地藏尊が建立され、「坂下平和地藏尊」と命名されました。

平和地藏尊を守り戦争体験を語り継ぐ懇談会

3 三四真地蔵尊



基本情報

所 在：初音児童遊園
住 所：東京都台東区谷中3-7-1
(東京メトロ 千駄木駅 徒歩3分)
建 立 者：三崎町、初音町四丁目、真島町有志
建 立 年：昭和23年
連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【堂】

昭和廿三年
三四真地蔵尊

由 来

みしま地藏尊由来
台東区谷中三丁目七番一号

太平洋戦争下の昭和二十年三月四日午前八時四十分頃、小雪降る中に、谷中地区はB29爆撃機の空襲を受け、死傷者約五百人、全半壊家屋約二百戸の被害を蒙った。

戦争も終り昭和二十三年、当時の三崎町、初音町四丁目、真島町の有志により三ヶ町の戦災死者七十余名の霊を永久に供養するために地藏尊が建立された。

みしま地藏尊とは三ヶ町の町名からそれぞれ一字をとったもので(三四真地藏)、かなで読みやすくした。

平成四年十一月 台東区教育委員会

4 今戸延命地藏尊



今戸延命地藏尊由来

昭和二十年三月九日夜半過ぎより十日未明にかけて
東京大空襲により江東・城北地区は一夜にして
悉く灰燼に帰す
当夜の犠牲者は九万余命に達し痛恨の限りなし
当今戸周辺の殉職者も数千名を数え隅田公園及び
その他に仮埋葬をなし
且つ今戸周辺の犠牲者数百名の遺体はこの地に埋葬した
その後上野寛永寺並びに震災記念堂に合祀した結果
その跡に町会有志発願主となり犠牲者の冥福を祈り
地藏尊を建立した
以来毎年三月慰霊祭を行い今日に至る

昭和四十四年
今三町会 合掌
(所在地 台東区今戸二丁目二十六番地)

昭和二十年三月九日夜半過ぎより十日未明にかけて
東京大空襲により江東・城北地区は一夜にして
悉く灰燼に帰す
当夜の犠牲者は九万余命に達し痛恨の限りなし
当今戸周辺の殉職者も数千名を数え隅田公園及び
その他に仮埋葬をなし
且つ今戸周辺の犠牲者数百名の遺体はこの地に埋葬した
その後上野寛永寺並びに震災記念堂に合祀した結果
その跡に町会有志発願主となり犠牲者の冥福を祈り
地藏尊を建立した
以来毎年三月慰霊祭を行い今日に至る

今三町会 合掌
昭和四十四年
(所在地 台東区今戸二丁目二十六番地)

基本情報

所在：台東区立桜橋中学校より北へ2本目の路地右
住所：東京都台東区今戸2-26-7
(東京メトロ・都営地下鉄・東武鉄道 浅草駅より 都営バス「桜橋中学校前」下車 徒歩3分)
建立者：高林正太郎
建立年：不明
連絡先：個人であり記載せず

碑文

【台座】

戦災（以下、判読不明）

由来

今戸延命地藏尊由来

昭和二十年三月九日夜半過ぎより十日未明にかけて
東京大空襲により江東・城北地区は一夜にして
悉く灰燼に帰す
当夜の犠牲者は九万余命に達し痛恨の限りなし
当今戸周辺の殉職者も数千名を数え隅田公園及び
その他に仮埋葬をなし
且つ今戸周辺の犠牲者数百名の遺体はこの地に埋葬した
その後上野寛永寺並びに震災記念堂に合祀した結果
その跡に町会有志発願主となり犠牲者の冥福を祈り
地藏尊を建立した
以来毎年三月慰霊祭を行い今日に至る

昭和四十四年
今三町会 合掌
(所在地 台東区今戸二丁目二十六番地)

5 戦災慰霊碑



基本情報

所在：本龍寺
住所：東京都台東区今戸1-6-18
(東京メトロ・都営地下鉄・東武鉄道 浅草駅より 都営バス「リバーサイドスポーツセンター前」下車 徒歩1分)
建立者：本龍寺
建立年：不明
連絡先：本龍寺 03-3875-7676

碑文

【表】

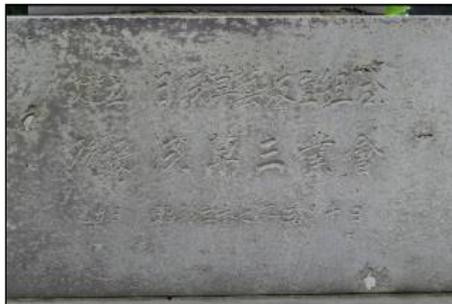
戦災殉 (以下、判読不明)

経緯

東京大空襲時、本龍寺 本堂下に設置されていた防空壕へ逃げ込んだ多くの方々が亡くなった。その方々を供養するため墓地の一角に建立された。

本龍寺 ご住職の証言をもとに構成

6 戦災霊供養 地藏大菩薩



基本情報

所在：浅草寺 淡島堂
住所：東京都台東区浅草2-3-1
(東京メトロ・都営地下鉄・東武鉄道 浅草駅 徒歩5分)
建立者：旧浅草藝妓屋組合
建立年：昭和37年3月10日
連絡先：浅草寺 03-3842-0181

碑文

【台座・上表】

戦災霊供養

地藏大菩薩

浅草寺恭順拜書

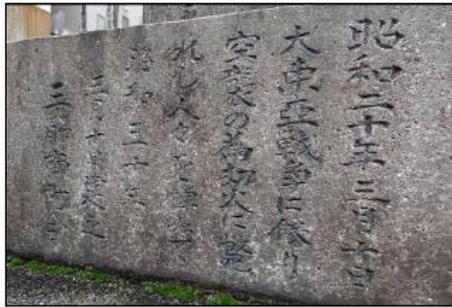
【台座・上裏】

昭和二十年三月十日

【台座・下裏】

建立 旧浅草藝妓屋組合
後援 浅草三業會
建立日 昭和三十七年三月十日

7 親子地藏尊



基本情報

所在：長応院墓地内
 住所：東京都台東区蔵前4-11
 (都営地下鉄 蔵前駅 徒歩2分)
 建立者：三筋南町会
 建立年：昭和30年3月10日
 連絡先：長応院 03-3851-6601

碑文

【台座・上左】

昭和二十年三月十日
 戦災犠牲者
 故人氏名
 (故人名)

【台座・上表】

春あさく
 去りし
 みたまよ
 安らう霊

【台座・下左】

愛知県岡崎市花崗町
 石近牧野政次郎

【台座・下表】

昭和二十年三月十日
 大東亞戦争に依り
 空襲の為契に斃
 れし人々を悼みて
 昭和三十年
 三月十日建之
 三筋南町会

8 春季・秋季慰霊大法要

春季慰霊大法要



秋季慰霊大法要



※写真提供 東京都慰霊協会

開催概要 (平成26年)

歳事名：春季・秋季慰霊大法要
 会場：東京都慰霊堂
 住所：東京都墨田区横網2-3-25 横網町公園
 (都営地下鉄 両国駅 徒歩2分、JR両国駅 徒歩10分)
 日時：【春季】平成26年3月10日(月)【秋季】9月1日(月) ※例年3月10日と9月1日開催
 参列者数：【春季】600人 【秋季】600人
 連絡先：公益財団法人 東京都慰霊協会 03-3623-1200

式次第 (平成26年)

【春季慰霊大法要】

1. 参列者入堂
2. 行事 鐘…大導師以下入堂
3. 開式の辞…東京都慰霊協会会長 檜垣正巳
4. 読経…大本山浅草寺 法田 光順 大僧正 外一山式衆、東京都仏教連合会 各地区代表
5. 追悼の辞…東京都知事、東京都議会議員、墨田区長、墨田区議会議員
6. 焼香 秋篠宮妃殿下、主催者、都・区代表、遺族代表、来賓代表、協賛団体代表
7. ご法話…大本山浅草寺 教化部 執事 壬生 真康 師
8. 大導師以下退堂
9. 閉式の辞…東京都慰霊協会理事長 中島 宏
10. 来賓退堂
11. 一般参拝者焼香

【秋季慰霊大法要】

1. 参列者入堂
2. 行事 鐘…大導師以下入堂
3. 開式の辞…東京都慰霊協会会長 檜垣正巳
4. 読経…東叡山寛永寺 貫首 神田 秀順 大僧正 祝下 外一山式衆、東京都仏教連合会 各地区代表
5. 追悼の辞…東京都副知事、東京都議会副議長、墨田区長、墨田区議会議員
6. 焼香 高円宮妃殿下、主催者、都・区代表、遺族代表、来賓代表、協賛団体代表
7. ご法話…東叡山寛永寺 長騰 浦井 正明 大僧正
8. 大導師以下退堂
9. 閉式の辞…東京都慰霊協会理事長 中島 宏
10. 来賓退堂
11. 一般参拝者焼香
12. 吊霊鐘

開式の辞 (平成26年 春季慰霊大法要)

本日ここに秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、東京都知事ならびに東京都議会議員をはじめ、多くのご来賓のご参列を得て、公益財団法人東京都慰霊協会は、ご遺族の皆様とともに、都内戦災ならびに関東大震災遭難者諸霊のご冥福を祈念して、平成26年春季慰霊大法要を執り行います。

顧みれば、本年は太平洋戦争の終戦から69周年、関東大震災から91周年となります。東京は大正の関東大震災と、昭和の太平洋戦争により、壊滅的な被害をこうむりました。特に、先の戦時下、昭和20年3月10日の大空襲で、大量の焼夷弾により都心の大部分が焼失し、一晩で8万人余のかけがえない命が失われ、遺族の皆様には癒えることのない悲しみを残しました。この慰霊堂に祀られている16万3千体の遺骨と共に、昭和の戦災と大正の大震災の記憶は、世代を超えて都民の心に深く刻まれ、未永く残ることでありましょう。

今日私たちが享受する平和と繁栄は、多くの尊い犠牲とご遺族の方々のご苦労の上に築かれていることを忘れてはなりません。世界では今なお、さまざまな地域で紛争が起き、戦火等による犠牲者が絶えません。また3年前の3月11日に発生した東日本大震災では、地震後の大津波により多くの方々の方が命を落とし、自然災害の怖さを身にしみ感じさせられましたが、地震や台風などの自然災害は、地球上の各地で絶えず起こっています。私たちは、世界の平和を心から願うとともに、戦災と震災の悲惨な出来事を次の世代へ語り継ぎ、教訓として生かしてゆくことが、私たちに課せられた使命であると考えます。

ここ東京都慰霊堂に眠る多くの戦災並びに震災遭難者の諸霊に対し、ご参列の皆様とともに、心から追悼の誠を捧げるとともに、将来このような惨事の繰り返されないことをお願いし、併せてご遺族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ式辞といたします。

平成26年3月10日
 公益財団法人東京都慰霊協会
 会長 檜垣 正巳

9 戦災殉難者供養之碑



基本情報

所 在：第四砂町小学校付近
 住 所：東京都江東区南砂2-28-1
 （東京メトロ 東陽町駅より 都営バス「南砂二丁目」下車 徒歩1分）
 建 立 者：起縁南砂町一、三丁目
 建 立 年：昭和27年
 連 絡 先：六地藏奉賛会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

昭和貳拾年 参月拾日歿
 戦災殉難者供養之碑
 起縁南砂町一、三丁目

【靈標板】

六地藏尊再建戦災殉難碑建立奉納者御芳名
 （個人名）

10 親子地藏尊



基本情報

所 在：東陽町駅北側
 住 所：東京都江東区東陽町4-2-5
 (東京メトロ 東陽町駅 徒歩1分)
 建 立 者：各町有志
 建 立 年：昭和26年3月
 連 絡 先：親子地蔵保存会 個人宅のため記載せず

碑 文

【左手前碑・表】

親子地蔵尊の由来

この親子地蔵尊は第二次大戦も終りに近い昭和二十年三月十日の下町地区の大空襲の初この地域に於いて殉難死された方々の霊の供養回向の為昭和二十三年三月十日の三年忌法要を記念し遺族及有志の発願によって建立したものです。

昭和五十三年三月十日 親子地蔵保存会

【位牌】

戦災殉難者諸精霊位

【左奥碑・表】

戦災殉難者七周忌記念
 親子地蔵尊
 昭和二十六年三月建立

【右碑・表】

大悲

【左奥碑・裏】

親子地蔵尊由来

昭和二十年三月十日ノ戦災ノ為メ老幼男女コノ地一帯ニ於テ殉難セシ遺族コレヲ懇ニ悼ノ為子抱キ地蔵尊像ヲ建テ以テ災除延命ノ地蔵尊ニ敬ヒ安置セルモノナリ

各町有志供養講

棟梁篠崎
 石工寺基

【右碑・裏】

戦災殉難死者供養のため建立せし親子地蔵堂も五十年の歳月を経損傷の度甚だしくなりしを憂い地域有志發願し堂を再建泉下の霊を慰めんと欲す 合掌

11 八百霊地藏尊



基本情報

所 在：猿江橋西側たもと
 住 所：東京都江東区森下5-15
 （都営地下鉄 菊川駅 徒歩7分）
 建 立 者：江東区森下五丁目町民有志
 建 立 年：地藏尊…昭和21年頃 由来記碑…昭和49年3月10日
 連 絡 先：森下五丁目町会 個人宅のため記載せず

碑 文

【堂】

八百霊地藏尊

由 来

八百霊地藏尊

由来記碑

昭和二十年三月十日大東亜戦争による米軍東京大空襲により一朝にして犠牲となった当時の深川高橋五丁目の町民八百余名の霊を慰めるため昭和二十一年生存者町民有志によりこの地藏尊が建立された
 この由来を後世に伝へ併せて恒久の平和を祈るため三十周年を記念してこの碑を建てた

昭和四十九年三月十日

江東区森下五丁目町民有志

※平成27年3月8日に故人の名を刻んだ慰霊碑を建立予定

12 延命地藏尊



基本情報

所在：東深川橋交差点北西
 住所：東京都江東区白河2-15
 （東京メトロ・都営地下鉄 清澄白河駅 徒歩1分）
 建立者：李仁洙
 建立年：昭和35年3月
 連絡先：泰耀寺 03-3657-0422

碑文

【台座・右】

(判読不明)

経緯

延命地藏尊由来

当地蔵は、文政四年（1821年）永代の上流大川浚渫の際、出現した多くの無縁仏の人骨を元真光寺境内で安置し供養する際に建立された。

その後、泰耀寺と合併、品川大龍寺への墓地移転があったが尊像は町内有志の懇情により昭和2年、現地に祀られる。

向かって右側の地藏尊は、昭和35年3月戦災死者供養のため李仁洙さんによって建立された。

泰耀寺 ご住職の証言をもとに構成

13 殉職者之碑



基本情報

所 在：天妙国寺
 住 所：東京都品川区南品川2-8-23
 (京急電鉄 青物横丁駅 徒歩4分)
 建 立 者：株式会社東亜製作所 齋藤源作
 建 立 年：昭和18年4月18日
 連 絡 先：齋藤最上工業株式会社 042-772-5005

碑 文

【表】

殉職者之碑

陸軍中將 長谷川治良謹書

【左】

昭和十七年四月十八日殉職
 (故人名)

【裏】

昭和十八年四月十八日建之
 株式会社東亜製作所
 社長 齋藤源作

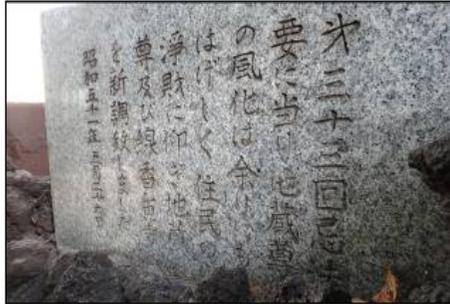
経 緯

(昭和17年4月18日の)空襲により

東亜製作所の従業員が犠牲となる。

齋藤最上工業株式会社の証言をもとに構成

14 入新井萬霊地藏尊



基本情報

所在：入新井公園
 住所：東京都大田区大森北1-20-1
 (JR大森駅 徒歩4分、京急電鉄 大森海岸駅 徒歩6分)
 建立者：入新井萬霊地藏尊奉賛会
 建立年：昭和32年5月(昭和51年5月29日再建)
 連絡先：入新井萬霊地藏尊奉賛会 個人宅のため記載せず

碑文

【表】

入新井萬霊地藏尊
 為昭和昭和二十年一月 十一日
 大空襲戦災死者
 五月二十三日
 五月二十九日

【裏】

才三十三回忌法
 要に当り地藏尊
 の風化は余りにも
 はげしく住民の
 浄財に仰ぎ地藏
 尊及び線香台等
 を新調致しました
 昭和五十一年五月二十九日

【左】

奉賛会
 (個人名)

【右】

発起人
 (個人名)
 昭和三十二年五月
 建之

由来

入新井萬霊地藏尊の由来

この辺りは、太平洋戦争下の昭和二十年五月二十九日の東京大空襲にて、不幸にも三・三平方メートル(一坪)当り六、七発の大量油脂焼夷弾が落され、大勢の尊い犠牲者が出ました。

戦後、区画整理も整い入新井公園が設けられるに及び、昭和三十二年住民の声にて、今は亡き肉親を偲び、在りし日の隣人を追慕してご冥福を祈ると共に永遠の平和を祈念し、故広瀬定光氏他有志が発起人となり、住民の浄財をあおいで地藏尊が建立されました。

その後永年の風雪に破損がひどく、今回三十三回忌を記念して再び広く浄財を募り再建したものであります。近隣の方々のお力により、毎日お花や線香の絶える時がありません。

昭和五十一年五月二十九日
 入新井萬霊地藏尊奉賛会

15 空襲犠牲者供養の地蔵



基本情報

所 在：小川医院付近
 住 所：東京都板橋区大山金井町16-8
 (東武鉄道 大山駅 徒歩8分)
 建 立 者：小川忠雄
 建 立 年：昭和25年
 連 絡 先：個人であり掲載せず

碑 文

なし

由 来

空襲犠牲者供養の地蔵

第二次世界大戦中の昭和二十年（一九四五）四月十三日夜、板橋から志村の地域にかけてアメリカ軍による空襲がありました。この空襲は、区内最大の罹災者約四万五千人を出し、板橋駅、区役所、養育院など板橋区の中核を焼け野原にしました。

この空襲で、当地の防空壕に避難していた、一人の乳児を含む九人が、爆弾の直撃を受け犠牲になったといわれています。

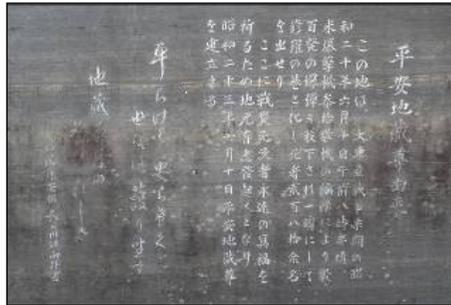
戦後、当地を購入し、公衆浴場を開業した小川忠雄氏が、先の空襲による被害を知り、供養のために建てたのが、このお地蔵さまです。昭和二十五年（一九五〇）に現在地に建てられました。八面の胴部分に一体ずつの地蔵が刻まれ、そのうちの一体が子供を抱えています。

昭和四十九年（一九七四）には、覆屋（おおいや）も作られ、現在ではまちの方々によって大切におまもりされています。

このお地蔵さまは、板橋区における空襲の事実を伝え、後世に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える史跡として、平成七年度、板橋区の記念物に登録されました。

平成九年二月 板橋区教育委員会

16 平安地蔵尊



基本情報

所 在：マンション シティライブ常盤台と三田南常盤台コーポの間
 住 所：東京都板橋区南常盤台2-11
 (東武鉄道 ときわ台駅 徒歩4分)
 建 立 者：地元有志
 建 立 年：昭和23年6月10日
 連 絡 先：個人であり掲載せず

碑 文

【地蔵・台座 裏】

奉賛會

(個人名)

昭和二十三年六月十日建之

由 来

【石碑・表】

平安地蔵尊由来

この地は、大東亜戦争末期の昭和二十年六月十日午前八時半頃、米爆撃機参拾数機の編隊により數百発の爆弾を投下され一瞬にして修羅の巷と化し死者貳百八拾余名を出せり

ここに戦災死没者永遠の冥福を祈るため地元有志發起人となり昭和二十三年六月十日平安地蔵尊を建立する

平らけく 安ら希く
 世越は 護り座す
 地藏菩薩の 誓ひうれしき

伊藤康安撰 長谷川耕南拜書

【石碑・裏】

戦災死没者

(故人名)

【説明板】

平安地蔵

昭和二十年(一九四五)六月十日、午前七時五十分より約二時間にわたり、この付近一帯はB29による空襲をうけました。『帝都防空本部情報』の記録によると、死者二六九名、重傷者八六名、建物の全壊二六〇戸、投下爆弾(二五〇キログラム級)一一六個、罹災者二、四六七人罹災世帯四九八世帯とあります。区内では最大の死者を出した空襲といわれ、実際にはこの数字より多い被害があったようです。

戦後、亡くなった人々の供養と再びこの悲劇を繰り返すまいという誓いのもとに昭和二十三年六月十日、地元有志の人々が浄財を集め、おとな、子どもを表す大小の地藏を造立、平安地蔵と命名しました。太平洋戦争を語る区内では数少ない史跡の一つです。

平成七年度、板橋区の記念物に登録されました。

平成九年三月 板橋区教育委員会

17 石出巳之助之墓



基本情報

所 在：法林寺
 住 所：東京都葛飾区西水元6-14-18
 (JR亀有駅より 東部バスセントラル「法林寺裏」下車 徒歩1分)
 建 立 者：石出文五郎
 建 立 年：昭和17年8月
 連 絡 先：法林寺 03-3608-1905

碑 文

【表】

石出巳之助之墓

【左】

悲運銃撃善士 昭和十七年四月十八日

【右】

昭和十七年四月十八日米國敵機ノ機銃彈ヲ受ケテ死亡ス
 性温和至純至孝身體強健ニシテ將來ヲ囑望セラレシニ此
 ノ災禍ニ遭ヒテ殉難ス 享年十四歳

【裏】

昭和十七年八月
 施主 石出文五郎建之

18 平和観音



基本情報

所 在：泉福寺
住 所：東京都江戸川区東小松川2-7-17
(都営地下鉄 船堀駅より 都営バス「東小松原二丁目」下車 徒歩7分)
建 立 者：泉福寺
建 立 年：昭和56年6月16日
連 絡 先：泉福寺 03-3652-9428

碑 文

【台座・表】

平和観音建立のこぼ

この観音様は、昭和二十年から教えて三十七回忌を機に、戦没戦災者萬霊の慰霊供養と世界の恒久平和を祈念して、当山遺族関係者と多くの有縁の方々の協力により建立されました。この観音様の開きかけの蓮華（荅蓮華）を右手で今まさに開かんとするお姿は、犠牲者萬霊を成仏させようとの意味であり、また私たちの菩提心を今まさに開かせて心の平和も象徴するものです。

再び戦争による犠牲者がごまませんように、皆さまがこの聖観音様と同じ働きをなされますようお祈りするものです。

南無大悲観世音菩薩

昭和五十六年六月十六日 山主合掌

【台座・左】

泉福寺関係戦没戦災犠牲者

(故人名)

【台座・右】

(故人名)

19 殉国慰霊碑



基本情報

所 在：阿豆佐味天神社
 住 所：東京都立川市砂川町4-1-1
 （JR立川駅より 立川バス「砂川四番」下車 徒歩2分）
 建 立 者：砂川町
 建 立 年：昭和34年3月31日
 連 絡 先：阿豆佐味天神社 042-536-3215

碑 文

【表】
 殉国慰霊碑

【裏】

第一次世界大戦から第二次世界大戦にわたり、多くの町民が、私たちに別れを告げ、戦場へ赴きましたが、不幸にも、そのうちの少なからぬ方々は、二度と私たちの間へ帰って来ませんでした。ここに私たちは、この方々の名を刻んで、これを久しく後代に伝え、併せて、その霊を慰めようとするものであります。

もとより、この方々が願ったのは祖国の勝利でありました。しかし、同時に、誰ひとり戦争を好んでいたわけではありません。ただ勝利の彼方に、世界の平和と祖国の繁栄とを望みみていたのであります。

それゆえに、世界の平和と祖国の繁栄とは、さいわいに生き残った私たちにとって、帰らぬ方々から託されたところの遺業であると申さねばなりません。今後、私たちは、誠実な協力を通じて遺業を完成し、これによって犠牲者の霊を慰めて行くことを誓うものであります。

戦没者芳名
 (故人名)

説 明 板

じゅんこくいれいひ
 殉国慰霊碑

昭和三四年（一九五九）建立
 巾 七尺五寸（2m30cm）
 厚 一尺三寸（40cm）
 高さ 二五尺（7m65cm）

仙台石の一枚岩で作られた市内最大の石造物です。

第一次世界大戦から第二次世界大戦の、砂川における戦没者・戦災死者の霊を慰めるため建立されたものです。二八八柱の方々が祀られています。

当時、あまりの大きさに、石を運ぶトレーラーやクレーンを、米軍横田基地から借りた、という逸話が残っています。

20 世代をこえて平和を考える日～戦没者追悼式並びに平和祈念式典～



※写真提供 三鷹市

開催概要（平成26年度）

歳事名：世代をこえて平和を考える日～戦没者追悼式並びに平和祈念式典～

会場：三鷹市公会堂 光のホール

住所：東京都三鷹市野崎1-1-1

（JR三鷹駅より小田急バス「三鷹市役所前」下車すぐ）

日時：平成26年8月15日（金） ※例年8月15日開催

参加者数：380人

連絡先：三鷹市健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係 0422-45-1151（代表）

式次第（平成26年度）

- | | |
|---------|----------------------|
| 式典一部 | 式典二部 |
| 1. 代表献花 | 1. コーラス（市内小学校合唱団） |
| | 2. 追悼と平和祈念のこぼ |
| | 3. 来賓代表紹介 |
| | 4. いま語り伝えたいこと |
| | 5. コーラス（三鷹市合唱連盟加盟団体） |
| | 6. 黙とう（正午） |
| | 7. 閉式 |

追悼と平和祈念のこぼ（平成26年度）

本日、先の大戦後69回目となる8月15日を迎え、戦没者のご遺族、原爆被害者、子どもたちを含む多くの市民の皆様のご参加をいただき、「三鷹市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を開催するに当たり、先の大戦で亡くなられた多くの尊い御霊に対し、市民を代表して、心から哀悼の誠を捧げるとともに、世界の恒久平和をお祈りいたします。

昭和20年（1945年）3月10日には下町を中心とした「東京大空襲」があり、前後して当時の三鷹町では軍需工場があったことから空襲があり、まさに三鷹も戦場の一つだったのです。

8月6日の午前8時15分には、広島に実戦で初めての原子爆弾が投下され、8月9日午前11時2分には長崎にも投下され、今なお原爆の被害によって苦しんでいる多くの人々がいらっしゃいます。三鷹市では、防災無線で呼びかけをして、広島及び長崎での式典で黙とうが捧げられるそれぞれの日のそれぞれの時刻に、市民の皆様とご一緒に黙とうを捧げています。

昭和20年（1945年）8月15日、多くの人々の尊い命の犠牲があった後に、日本は終戦の日を迎えました。そして、平成26年（2014年）の今日までの69年という歳月の経過は、三鷹市民の大多数を終戦以降に生まれた、いわゆる「戦争を知らない子どもたち」として生きています。

そこで、三鷹市ではこの日を「世代をこえて平和を考える日」と位置付けています。それは、市長である私を含めてほとんどの市民が戦争を経験していない現在において、かつての戦争の事実をしっかりと伝え、世代をこえて平和を考えることが必要であると認識しているからです。戦後69年を戦争のない中で迎えている日本であっても、過去においては確かに悲惨な戦争の当事者であったということと謙虚に振り返り、幾多の尊い命の犠牲があって現在の平和があるということ。次の世代に語り継ぐ責務があるのです。

そのために、三鷹市では『いま語り伝えたいこと—三鷹戦時下の体験—』という体験談をまとめた本を昭和61年（1986年）に刊行し、戦後60年を迎えた平成17年（2005年）に復刻版を刊行しています。さらに同年、三鷹市は『そして60年 三鷹のまちは戦場だった』という映像作品を制作し市民の皆様に貸し出してご覧いただきました。現在はそれを三鷹市のホームページからご覧いただけるようにしています。

平成25年度（2013年度）からは、戦争を体験された皆様のお話を改めてお聞きして記録する「戦争体験談のアーカイブ化」事業を進めています。三鷹市遺族会や三鷹市原爆被害者の会の皆様をはじめ、戦争を体験された皆様から戦中や戦後の暮らしについてのお話を聴かせていただき、すでにその一部をホームページで公開しています。

戦争を体験されたかたで、これまで小学校や中学校に直接向かって体験談を伝えていただいていたかたもいらっしゃいますが、今では高齢のために外出ができないかたもいらっしゃいます。たとえば、三鷹市原爆被害者の会の元代表である出島勉子さんもそのおひとりであり、かねてはこの場で体験談を語っていただいたこともありました。今は80代後半で、外出を控えていらっしゃることもあり、昨年はアーカイブ化の取組みにご協力いただきました。

このように、戦後69年を過ぎた今では戦争を実際に体験された皆様は多くは高齢で、ご病気をされたりお亡くなりになったりされていらっしゃいます。そこで、戦争を体験されたかたの「記憶」を「記録」するための時間は、私たちに決して多くは残されていないかもしれません。戦時下の「記憶」を可能な限り「記録」して、市内外に発信することを通して、今を生きる私たちにあって、平和が如何にかげえられないものであるかを再確認し、ご一緒に地域から平和への願いを届けていきたいと思います。

三鷹市は、昭和57年（1982年）には「核兵器を持たず・つくらず・持ち込まず」の非核三原則が、平和を希求する全ての国の原則となる事を願って、「非核都市宣言」を行っています。三鷹市は、日本が人類史上唯一の戦争被爆国として核兵器の惨禍を経験した立場を踏まえて、「核兵器のない世界」の実現を求めています。

また、平成4年（1992年）には、単に戦争や紛争がない状態を「平和」ととらえるのではなく、地球環境が保護され、「貧困」「飢餓」「難民」などが存在することなく、地球上に住む全ての人々が、ともに幸せに生きることができるとして「平和」につながるという「積極的平和」の考え方に立て、「三鷹市における平和施策の推進に関する条例」を制定しています。

現行の『三鷹市基本構想』では、「平和の希求」、「基本的人権の保障」、「地方自治の実現」を目標としていますが、まさに、「平和」のないところに「基本的人権の保障」はなく、「基本的人権の保障」がないところに、真の「地方自治」の実現は成立しないのです。

「平和」という言葉は、それを唱えるだけでは実現されるものではないと思います。私たちは、「三鷹市基本構想」や『三鷹市自治基本条例』に基づき、まずは、地域社会において、お互いの基本的人権と多様な価値観を尊重しつつ、法治国家における民主主義の手続きを遂行していくことが大切であると思います。

そして、地域から平和を実現していくためには、多様な市民及び団体による「協働」の実践を積み重ねていくことが重要です。たとえば、三鷹市が世界連邦運動協会三鷹支部の皆様と協働で「平和」に関する児童の絵画を募集して、平成元年（1989年）から制作してきた「平和カレンダー」の取組みがあります。毎年秋には、公益財団法人三鷹国際交流協会と三鷹青年会議所をはじめとする実行委員会が「国際交流フェスティバル」を開催されてきており、今年は25回目を迎えています。子どもたちや若い世代が多く参加するこうした草の根の平和事業は極めて重要です。

本日の式典においては、三鷹中央学園三鷹市立第三小学校合唱団と鷹南学園三鷹市立中原小学校合唱団、大成高校合唱団がコーラスで参加してくれています。児童・生徒の皆様のご歌声に込められている「平和」への願いが、たしかに未来へつながることを信じます。

さて、今年も申し上げます。私は三鷹市長として、人間の引き起こした悲しい歴史的事実から目をそむけることなく、次の世代にしっかりと語り継ぐとともに、現在も、そしてこれからも、真の平和の実現に向けて、皆様と一緒に努力していきたいです。

結び、もう一度、先の大戦で亡くなられた尊い御霊のご冥福を心よりお祈りし、ご遺族の皆様のお心のご平安を心より願いますとともに、全ての人が、平和の下に、平等に、心豊かに安心して暮らせるように「平和への祈り」を捧げ、「追悼と平和祈念のこぼ」といたします。

平成26年（2014年）8月15日
皆様とともに 三鷹市長 清原 慶子

21 町田市戦没者追悼式



開催概要（平成26年度）

歳事名：町田市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：町田市民ホール
 住所：東京都町田市森野2-2-36
 （JR・小田急電鉄 町田駅 徒歩7分）
 日時：平成26年10月16日（木） ※例年10月開催
 参列者数：190人
 連絡先：町田市 地域福祉部 福祉総務課 042-722-3111（代表）

式次第（平成26年度）

1. 開 式
2. 戦没者芳名録奉納… 地域福祉部長
3. 国歌 斉 唱
4. 黙 と う
5. 式 辞… 町田市長
6. 追 悼 の こと ば… 町田市議会議長、町田市戦没者遺族会会長、戦没者遺族代表
東京都遺族連合会会長、東京都知事
7. 献 花
8. 閉 式

式 辞（平成26年度）

本日ここに、多くの戦没者御遺族並びに御来賓の皆様のご参列のもと、町田市戦没者追悼式を執り行うにあたり、町田市を代表し、式辞を申し上げます。

先の大戦において、多くの人々が、国内はもちろん遠い異国の地で、愛する家族を思いながら、その尊い命を捧げられましたことは、私たちにとって永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。

今日の私たちの生活の礎となっている平和と繁栄は、尊い犠牲の上に築かれていることを、私たちは決して忘れてはなりません。

あらためて、戦争により亡くなられた全ての方々と、今日にあっても決して癒されることのない御遺族の皆様への深い悲しみに対し、心から哀悼の意を表します。

歳月が流れ、本年、終戦から69年目を迎えました。戦後の日本は、世界に類を見ないほどの国勢の復興・発展を経験したものの、現在では、経済問題、希薄化する人間関係、相次ぐ凶悪犯罪の発生、地球規模の環境問題などが深刻化しております。

また、国際的には、地域・民族の紛争が絶えることがありません。平和への想いは、いつの時代においても、なにもにも代えがたい普遍の願いです。戦没者の方々が、かけがえのない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを、深く心に刻み、未来を担う次の世代にしっかりと継承し、戦争の歴史を繰り返さないことを、御霊の前にお誓いいたします。

結びにあたり、戦争の犠牲となられた方々のご冥福と、本日ご列席の皆さまの今後ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成26年10月16日
町田市長 石坂 丈一

22 町田市戦没者合同慰霊塔



基本情報

所 在： かぶと塚公園付近
 住 所： 東京都町田市忠生3-22-8
 (JR・小田急電鉄 町田駅 町田バスセンターより 神奈川中央交通「根岸」下車 徒歩3分)
 建 立 者： 町田市
 建 立 年： 昭和46年9月
 連 絡 先： 町田市 地域福祉部 福祉総務課 042-722-3111 (代表)
 ※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

慰霊塔

由 来

明治以降各戦役の戦没者および太平洋戦争における戦没者並びに戦争犠牲者の精霊を敬慕する市民の総意によってここに合同慰霊塔が建立されました

わたくしたちはこの聖塔をあおいで心からみたまのご冥福と永遠の世界平和を祈念するものであります

昭和四十六年九月吉日

町田市長 大下勝正

23 戦災者慰霊塔 平和観音



基本情報

所 在：総持寺
住 所：東京都西東京市田無3-8-12
(西武鉄道 田無駅 徒歩5分)
建 立 者：戦災者慰霊塔建設会
建 立 年：昭和32年4月12日(平成4年移転)
連 絡 先：総持寺 042-461-0044

碑 文

【表】

戦災者慰霊塔

昭和二十年四月十二日祈念

【裏】

昭和三十二年四月十二日建立

戦災者慰霊塔建設会

由 来

【表】

平和観音

太平洋戦争末期の一九四五年四月十二日、米軍機B29の爆撃により田無駅前において五十数名の罪なき人々が一瞬にして爆死し、その他多数の人々が被災者となった。更にこの年の八月十五日の終戦までに田無全域において百数十の尊い命が爆撃の犠牲となった。

一九五七年四月十二日、被災地居住の歯科医海老沢太一氏が中心となり被災者遺族及び篤志家により金物店主下田武主氏がその所有地を無償提供され駅前の爆心地に観音像の戦災者慰霊塔が建立された。爾来、霊を同所で慰めてきたが、アスタビル建設のため、一九九二年移転せざるを得なくなり、総持寺のご好意によりこの地を安住の地と定める事となり移住した。

田無駅前被災の中心地には「田無平和の日」条例制定記念として記念碑を設け、この慰霊塔はこの地で平和のシンボルとして子孫が平和を享受出来るよう祈願する。
一九九九年四月十二日

【裏】

戦災者慰霊塔建設会

(個人名)

継承者
田無平和の会

神奈川県

1 横浜戦災者慰霊碑、合掌、戦災遭難者諸霊供養塔



基本情報

所 在：三ツ沢墓地
 住 所：神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町20-6
 (市営地下鉄 三ツ沢下町駅 徒歩10分)
 建 立 者：【横浜戦災者慰霊碑】横浜市 【合掌】横浜戦災遺族会 【戦災遭難者諸霊供養塔】不明
 建 立 年：【横浜戦災者慰霊碑】昭和25年3月【合掌】昭和47年5月29日【戦災遭難者諸霊供養塔】昭和22年5月
 連 絡 先：横浜市 健康福祉局 健康安全部 環境施設課 045-671-2450 (直通)

碑 文

【横浜戦災者慰霊碑・表】

横浜戦災者慰霊碑

横浜市

【横浜戦災者慰霊碑・裏】

昭和二十五年三月建之

【合掌・表】

合掌 横浜戦災遺族会

昭和四十七年五月二十九日建

【戦災遭難者諸霊供養塔・台座】

為戦災遭難者諸霊

供養塔

昭和二十二年三回忌五月建之

2 黄金地藏尊



基本情報

所 在：普門院
 住 所：神奈川県横浜市南区西中町1-2
 (京急電鉄 黄金町駅 徒歩3分)
 建 立 者：地元有志
 建 立 年：不明(昭和27年か28年頃、普門寺に移築)
 連 絡 先：普門院 045-231-6522

碑 文

なし

経 緯

昭和20年5月29日、横浜大空襲の際、近くに高射砲台があったためか焼夷弾が数多く落とされた。普門院にも助けを求めて多くの人が駆け込んできたが、火の回りが早く境内手前の階段で力尽きたものもいた。当時の住職も迫りくる炎の中、念仏を唱えながら絶命されたという。黄金町駅前には多くの遺体が運び込まれたため、終戦後、供養のため地藏尊が駅前に建立された。その後、駅前開発の際、普門院に移築された。毎年5月29日に法要が行われている。

普門院 ご住職の証言をもとに構成

3 戦災殉難供養塔



基本情報

所 在：持明院
 住 所：神奈川県横浜市金沢区富岡東5-8-34
 (京急電鉄 京急富岡駅 徒歩6分)
 建 立 者：持明院
 建 立 年：不明
 連 絡 先：持明院 045-771-6977

碑 文

【表】

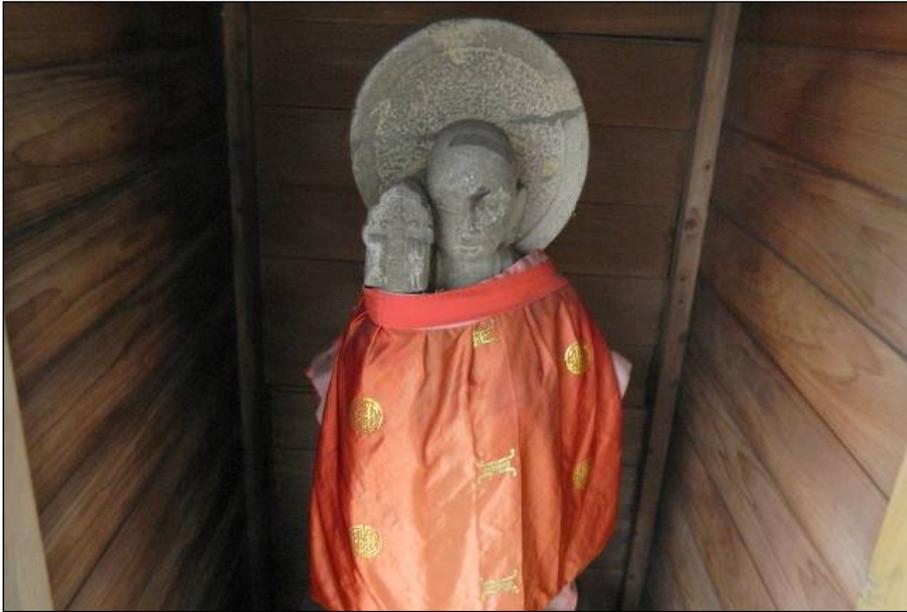
戦災殉難供養塔

昭和二十年六月十日

【裏】

施主 耕地廣瀬家

4 戦災供養地蔵



基本情報

所在：笹の原の子育て地蔵堂敷地内
 住所：神奈川県川崎市高津区末長1-7
 （東急電鉄 梶が谷駅 徒歩5分）
 建立者：笹の原の子育て地蔵堂講中
 建立年：昭和22年春
 連絡先：個人のため記載せず

碑文

【台座・上表】

（故人名）

【台座・下表】

戦災供養



経緯

昭和20年4月4日の米軍の空襲により、旧末長134番地を中心に
 6世帯17人が亡くなった。

その追悼のため、昭和22年春、近隣の地蔵堂の敷地内に戦災供養の
 地蔵が建立された。

笹の原の子育て地蔵堂講中の方の証言をもとに構成

富 山 県

1 富山県戦没者追悼式



※写真提供 富山県

開催概要 (平成26年度)

歳事名：富山県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：富山県教育文化会館ホール
 住所：富山県富山市舟橋北町7-1
 (JR富山駅より 富山地方鉄道 電停「県庁前」下車 徒歩4分)
 日時：平成26年8月15日(金) ※例年8月15日開催
 参列者数：560人
 連絡先：富山県 厚生部 厚生企画課 076-444-3199 (直通)

式次第 (平成26年度)

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 式辞…富山県知事
4. 黙とう
5. 追悼の辞…県議会議長、富山県市町村長代表、県遺族会長
6. 電報披露
7. 献花
8. 閉式の辞

式辞 (平成26年度)

本日、県内各地の戦没者ご遺族並びにご来賓の皆様をお迎えし、第52回富山県戦没者追悼式を挙行するにあたり、富山県民を代表いたしまして、3万余柱のみ霊に、謹んで追悼と慰霊の誠を捧げます。

み霊は、苛烈を極めた先の大戦において、祖国の安泰と繁栄を願い、家族を案じながら散華された軍人軍属の方々、戦禍に遭われ遠い異郷の地で亡くなられた方々、そして、終戦直前の富山大空襲の犠牲となられた方々であります。尊い命を失われた多くの方々のご心情とご無念に思いを馳せ、また、時を経て癒されることのないご遺族の深い悲しみに思いを致すとき、今なお悲痛の念が胸に迫ってまいります。

また、最愛の肉親を失われた深い悲しみを乗り越え、戦後の混乱の中を立派に生き抜かれ、今日の平和で豊かな社会の建設に大きく貢献してこられたご遺族の皆様のご労苦に、心から敬意を表し、感謝を申しあげる次第であります。

終戦から、69年の歳月が過ぎ、この間、わが国は、国民のたゆまぬ努力により、幾多の苦難と試練を乗り越え、平和国家としてめざましい発展を遂げてまいりました。私たちは、今日の平和と繁栄が、み霊の尊い犠牲の上に築かれていることを決して忘れてはなりません。

今や、わが国の人口のおよそ8割が、戦後生まれとなりました。こうした中、悲惨な戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを次の世代にしっかりと語り継いでいくことが、今を生きる私たちに課せられた重要な使命であります。

世界は今、北朝鮮などの核開発問題、テロの多発等に加え、温暖化等の地球環境問題など、先行きが不透明なものとなっております。私たちは、こうした課題が1日も早く解決されることを願うとともに、世界の恒久平和の実現に貢献していかなければなりません。

一方、わが国を取り巻く状況は、東日本大震災からの復興をはじめ、人口減少、少子・高齢化、経済再生、エネルギー政策、安全保障・領土問題など、依然として厳しいものがあります。こうした中、これからの日本は、大震災からの復興とあわせ、いわば「新しい国づくり」が求められており、富山県としても、「元気とやま」の創造を通じて、その一翼を担っていかねばならないと考えております。

本日の式典にあたり、先の大戦から学び取った多くの教訓を深く心に刻み、今後とも、ふるさと富山県の限りのない発展と、県民の皆様の幸せのために、誠心誠意、全力を尽くすことを固くお誓いいたします。

終わりに、祖国の平和と繁栄を願いつつ、尊い命を捧げられたみ霊の永遠のご冥福と、ご遺族の皆様方のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成26年8月15日
 富山県知事 石井 隆一

長野県

1 安曇野市平和のつどい並びに戦没者追悼式



※写真提供 安曇野市（平成25年度時）

開催概要（平成25年度）

歳事名：安曇野市平和のつどい並びに戦没者追悼式 ※一般戦災死死者を含む
 会場：安曇野市堀金総合体育館 サブアリーナ
 住所：長野県安曇野市堀金烏川2662
 （JR大糸線豊科駅より 車で10分）
 日時：平成25年11月23日（土） ※例年11月開催
 参加者数：約250人
 連絡先：平和のつどい…安曇野市 総務部 総務管理課 行政担当 0263-71-2000（代表）
 戦没者追悼式…安曇野市 福祉部 長寿社会課 福祉政策担当 0263-81-1622（直通）

式次第（平成25年度）

平和のつどい	戦没者追悼式
1. 開式	1. 開式
2. 市長 あいさつ	2. 国歌斉唱
3. 教育委員長 あいさつ	3. 市長式辞
4. 作文集 進呈	4. 黙祷
5. 作文発表平和への想い	5. 追悼のこぼ
6. 平和祈念講演	6. 電文披露
7. 閉式	7. 献花
	8. 閉式

式辞（平成25年度）

本日ここに、多くのご遺族とご来賓の皆様のご参列をいただき、安曇野市戦没者追悼式を執り行うにあたり、戦禍の犠牲となられた郷土の戦没者各位並びに戦災の受難により犠牲となられた方々の御霊に対し、全ての安曇野市民とともに、謹んで哀悼の誠を捧げます。

顧みますと、かの大戦においては、多くの方々が父祖の地を離れ、ただ一心に祖国の安泰を願い、家族の平穏を祈りながら、苛烈を極めた戦いに傷つき、心ならずとも遠い異郷の地で帰らぬ人となられました。

終戦を迎えた後にも、多くの苦難にさらされる中で異国に倒れられ、終には故郷安曇野の地を今一度踏むことの叶わなかった方々もおられました。

国のため、故郷のため、家族のために戦火に倒れられた方々の御霊に思いを致すとき、終戦から六十八年余という歳月を経た今日にあってもなお、慟哭の思いが胸に迫ってまいります。

また、大切な家族を失われたご遺族の皆様におかれましては、深い悲しみに耐え、幾多の試練を乗り越えてこられたところであり、今日までの長きにわたる並々ならぬご苦労に対し、心からのご慰労を申し上げ、敬意を捧げるものであります。

さて、本年四月に阿智村に満蒙開拓平和記念館が開館しました。当市からも大勢の方が満州に渡った後、戦禍の犠牲となり帰らぬ人となっております。記念館には、県内外から予想を上回る方が訪れ、国策として遠く大陸へと渡った開拓団の足跡に思いを馳せているとのことでもあります。

これもひとえにご遺族ならびに関係者の方々の、世界平和への強い思いと、かつて悲惨な戦争があったという事実を忘れてはならないという信念が実を結んだものと、大変感銘を受けております。

これらをはじめ、諸霊のご加護とご遺族の皆様のご多大なるご尽力の賜物として、我々が日々享受している平穏な日々があり、この繁栄の陰には、御霊の尊い犠牲とご遺徳による誠に大きな礎があることを一時たりとも忘れてはならないと改めて肝に命じるものであります。

この思いを深く胸に刻み、これからも、諸霊が愛された故郷、幾多の人々によって受け継がれてきたこの安曇野を、さらにいきいきと輝く命が溢れ、二度と戦火に曝されることのない平和な地にして未来へとつなぐ、それが、諸霊の魂を受け継ぐ私たちに課せられた責務です。

歴史や文化に学び、この美しい環境や景観を護り、あらゆる人が安心して生活ができる豊かな安曇野市の実現に向け、市民の皆様と力を合せて邁進してゆこう、と改めて覚悟するところであります。

ここに、御霊の「永久に安らかならん」とことと、そして郷土に平和と限りなき発展をお導き賜りますことを念じ、併せまして、ご遺族、ご参列の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成25年11月23日
 安曇野市長 宮澤 宗弘

岐 阜 県

1 岐阜県戦没者慰霊塔



基本情報

所 在：岐阜護国神社の東（神社の敷地外）
 住 所：岐阜県岐阜市鏡岩
 （JR岐阜駅より 岐阜バス「長良橋」下車 徒歩13分）
 建 立 者：戦争犠牲者慰霊塔建造委員会（岐阜県戦没者慰霊塔改修委員会により改修）
 建 立 年：昭和31年11月15日（平成5年6月29日改修）
 連 絡 先：岐阜県 健康福祉部 地域福祉国保課 社会援護係 058-272-8349（直通）
 ※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

慰霊塔

【右】

世界の平和を願って

この慰霊塔は昭和三十一年十一月に建設されたものであるが長い年月の経過とともに老朽化したためここに世界の平和を願い全面改修したものである

平成五年六月
 岐阜県戦没者慰霊塔改修委員会

由 来

この慰霊塔は日清戦役以後太平洋戦争に至る間に日本の繁栄を平和を念じ戦陣に散華されあるいは戦禍にたおれた人々の霊を慰め後世永くその遺芳を伝えるため岐阜県民の総意によって建設されたものである

2 岐阜県戦没者追悼式



※写真提供 岐阜県

開催概要（平成26年度）

歳 事 名：岐阜県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会 場：岐阜県戦没者慰霊塔前
 住 所：岐阜県岐阜市鏡岩
 （JR岐阜駅より 岐阜バス「長良橋」下車 徒歩13分）
 日 時：平成26年10月24日（金） ※例年10月開催
 参列者数：約1,100人
 連 絡 先：岐阜県 健康福祉部 地域福祉国保課 社会援護係 058-272-8349（直通）

式 次 第（平成26年度）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 開 式 の 辞…健康福祉部長 | 5. 来 賓 追 悼 の 辞 |
| 2. 国 歌 斉 唱 | 6. 遺 族 代 表 追 悼 の 辞 |
| 3. 式 辞…知事 | 7. 献 花 |
| 4. 黙 と う | 8. 閉 式 の 辞…健康福祉部長 |

式 辞（平成26年度）

本日ここに 岐阜県戦没者追悼式を執り行うにあたり 謹んで御霊に対し追悼の誠を捧げますとともにご遺族の皆様へ心より哀悼の意を表します

幾多の悲しみをもたらした先の大戦が終わりを告げてから 69年の歳月が過ぎ去りました
 祖国を思い 家族を案じつつ 戦場に倒れられた方々 度重なる空襲によってお亡くなりになられた方々
 あるいは戦後 望郷の思いを胸に抱きながら遠い異境の地で最期を遂げられた方々に 思いを馳せますとき
 今なお 痛恨の念が胸に迫ってまいります

また 最愛の肉親を失われたご遺族の皆様へ 戦中戦後の長きにわたるご苦労に対し 心より敬意を表する次第でございます

戦後 我が国は 平和を願う国民一人ひとりのたゆみない努力により 社会情勢の激変 未曾有の災害など幾多の困難を乗り越えながら 今日 繁栄を築き上げてまいりました しかしながら 世界の各地では 紛争テロ 感染症などが 絶えることなく発生しており 多くの人々が尊い命を失い 故郷を追われ 飢餓と貧困に苦しんでいます

私たちは 今日 日本の平和と繁栄が多くの先人の犠牲を礎としているという 厳粛な事実を胸に深く刻み戦争の悲惨さを風化させることなく 未来を生きる子どもたちに引き継いでいかなければなりません そして世界の人々と手を携えて 恒久平和に貢献していく責務があります このことこそが 戦禍に倒れられた方々にお報いする 唯一の途であると確信するものであります

結びに 戦没者の御霊の安らぎと 本日もご参列の皆様のご健勝を 心よりご祈念申し上げ 式辞といたします

平成26年10月24日
 岐阜県知事 古田 肇

静岡県

1 磐田市戦没者・戦災死者追悼式



※写真提供 磐田市

開催概要 (平成26年度)

歳事名：磐田市戦没者・戦災死者追悼式
 会場：磐田市民文化会館
 住所：静岡県磐田市二之宮東3-2
 (JR磐田駅より 遠鉄バス「市民文化会館」下車 徒歩3分)
 日時：平成26年8月15日(金) ※例年8月15日開催
 参列者数：約400人
 連絡先：磐田市 健康福祉部 福祉課 地域福祉グループ 0538-37-4814 (直通)

式次第 (平成26年度)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 開式のことば | 6. 平和への想い…小中学生代表 |
| 2. 一同拝礼 | 7. 献花 |
| 3. 黙祷 | 8. 謝辞…磐田市遺族会会長 |
| 4. 式辞…磐田市長 | 9. 一同拝礼 |
| 5. 追悼のことば…遺族代表
(磐田市遺族会竜洋支部長) | 10. 閉式のことば |

式辞 (平成26年度)

平成26年度磐田市戦没者・戦災死者追悼式を挙げるにあたりまして、謹んで追悼の誠を捧げます。戦後、69年もの歳月が過ぎ去ろうとしております。先の大戦による幾多の戦いは、国内外で苛烈な戦い、祖国の繁栄と安泰を願いつつ、多くの方々が尊い命を捧げられました。最愛の内親を失われたご遺族の皆様方におかれましては、そのご心情に思いを寄せますとお慰めの言葉もございませんが、いまなお決して癒されることのない痛みを胸に、あらゆる苦難に立ち向かいながら、長い道のりを歩まれたそのご努力に対し、深く敬意を表します。

本日ここに、戦没者並びに戦災死者の御霊を慰め、二度と惨禍を繰り返さないと平和の誓いを新たにし、世界唯一の戦争における核被爆国として、戦争の悲惨さを次の世代に語り継いでいくことは、私たちに課せられた責務であります。

こうした中、本市は平成21年4月、世界の恒久平和の実現を強く希求し「核兵器廃絶平和都市」を宣言いたしました。全世界の人々が、戦争や紛争のない日々を送り、人類共通の明るい未来を創ることは、平和な今を生きる私たちの重大な使命であります。

さらに、未来を担う子どもたちに戦争の恐ろしさを伝え、平和について真剣に考える機会とするため、平成22年度から広島平和記念式典へ市内中学校から代表生徒を派遣する事業を開始し、昨年度からは小学校にも対象を広げ、今年度も市内全小中学校の代表者、34名を派遣いたしました。

去る8月5日には、平和記念公園内の原爆ドームや広島平和記念資料館の見学に加え、安田女子高等学校へも訪問いたしました。この学校は戦争当時、爆心地近くに位置していたため、多くの生徒が亡くなりました。現在の校庭には、原爆投下後、草木も生えないと言われた広島のも地で、その翌年から花を咲かせ、今なお生き続けている被爆桜があり、生徒さんたちはこの桜から接ぎ木をした苗木を大切に育て、平和への夢と希望を発信するため全国へ贈られており、生徒会の皆さんからこれらのお話を直接伺うことができました。

そして、翌8月6日、43年ぶりに雨が降りしきる中、議長、教育長、私と共に平和記念式典に参列し、広島市長の平和宣言をはじめ、安倍総理大臣のあいさつ、そして子ども代表の小学六年生お二人の平和への誓いなどを間近で聴き、さまざまなものを胸に刻んだことと思います。

本日の式典の中でも、参加者を代表して、豊田南中学校の佐藤蓮さんに、広島に行って感じたこととお話していただきます。中学生が、貴重な体験を通して、肌で感じた平和への想いをお聞かせしたいと思います。

さて、我が磐田市は、平成17年に5市町村が合併し、県下5番目、人口17万人余の中核都市に発展し、来年度は、合併10周年となる大きな節目の年を迎えます。本式典のあり方についても、遺族会の皆様から、会員の高齢化など、様々な課題に関して、これまで話し合いを重ねてまいりましたが、現状を十分踏まえ、より多くの市民の皆さんに、平和や命の尊さを、さらに深く心に刻んでいただける機会となるようにしてまいりたいと考えております。

そして、多くの市民の皆さんに合併してよかったと思っただけの市となるよう、地域の思いや市民生活を大切にしながら、安全安心のための防災対策をはじめ、次の世代への確かな基礎を築くために、今やるべきことには積極的に取り組む、思いやりと笑顔にあふれ、子育てや教育が充実し、若い人たちに「住んでみたい」と言われるような、総合力ナンバーワンのまちを目指して、力強く挑戦を続けてまいります。

結びにあたりまして、諸霊の尊い犠牲により、今日の磐田市が培われたことを忘れることなく、より一層平和で明るく元気なまちづくりに邁進することをお誓いし、尊霊に対し謹んで敬弔の誠を捧げ、追悼の式辞といたします。

平成26年8月15日
 磐田市長 渡部 修

2 慰霊碑



基本情報

所 在： 磐田市緑ヶ丘霊園
 住 所： 静岡県磐田市西貝塚3557-2外
 (JR磐田駅より 遠鉄バス「わかば台団地入口」下車 徒歩5分)
 建 立 者： 磐田市
 建 立 年： 昭和53年秋
 連 絡 先： 磐田市 環境水道部 環境課 生活環境グループ 0538-37-2702 (直通)

碑 文

【表】

慰霊碑

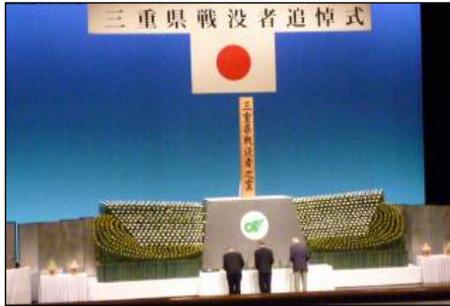
【裏】

慰霊詞

明治以来太平洋戦争に至る間
 征きて再び還らなかつた英霊千六百十七柱
 勉学生業に励みながら戦火に殞れた
 同胞児童を含めて二百十八柱
 大陸曠野の石の下
 孤島密林の草のかけ
 綿津海の青い波間
 雲流れる大空の果
 そしてわが故郷の巷の中
 夫々の聖地に思いを馳せ
 市民有志の合力により
 市政三十周年を記念し
 こゝに改めて合祀する
 過去を忘れるものは 再び過去を
 繰返す運命にあるという
 此の碑を永遠の平和のしるしとして
 共に仰ぎ誓いあわせて
 諸霊の安らかに眠られんことを祈る
 昭和五十三年秋
 磐田市長山内克己謹書

三重県

1 三重県戦没者追悼式



※写真提供 三重県

開催概要 (平成26年度)

歳事名：三重県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：三重県総合文化センター 中ホール
 住所：三重県津市一身田上津部田1234
 (JR・近鉄電車・伊勢鉄道 津駅より 三重交通バス「総合文化センター前」下車 すぐ)
 日時：平成26年7月4日(金) ※例年7月上旬開催
 参列者数：約900人
 連絡先：三重県健康福祉部 地域福祉課 059-224-2256 (直通)

式次第 (平成26年度)

1. 開式のことば…三重県健康福祉部長
2. 国歌斉唱
3. 式辞…三重県知事
4. 一同黙とう
5. 追悼のことば…三重県遺族会会長、三重県議会議長、三重県選出国會議員代表、三重県市町長代表、遺族代表
6. 献花
7. 閉式のことば…三重県健康福祉部長

式辞 (平成26年度)

本日ここに、戦没者のご遺族をはじめ、ご来賓の皆様方多数のご列席を得て、「三重県戦没者追悼式」を挙行いたしますことは、誠に意義深く、ここに謹んで哀悼の誠を捧げます。

苛烈を極めた先の大戦で、家族を案じつつ、心ならずも戦場に倒れ、戦禍に遭われ、あるいは戦後、遠い異郷の地で無念のうちに帰らぬ人となられた戦没者の方々の御霊に対して、謹んで哀悼の意を捧げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

また、ご遺族の皆様方には、最愛の肉親亡きあと、時を経てもなお癒されることのない深い悲しみを抱えながら、残されたご家族を懸命に守り、多くの苦難を乗り越えてこられましたことに對しまして、改めて深い敬意と心から哀悼の意を表します。

私は昨年11月、知事としては8年ぶりに沖縄「三重の塔」慰霊式に参加いたしました。こちらでは沖縄及び南方諸地域で戦禍に倒れた方々の御霊が約53000柱祀られており、非業な死を遂げざるを得なかった御霊が永遠に安らかなることを強く祈念するとともに、故郷三重が神宮式年遷宮により活況を呈していることをご報告し、今日の我が国の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲によって、我が国の平和や繁栄の礎が築かれていることの感謝の意をお伝えしてきました。

しかしながら、この地に慰霊碑があり、多くの方々の御霊が祀られていることを知らない子どもたちが多くなったとお聞きしております。

戦後に生まれた人が今や人口の8割を占め、1億人を突破しました。私たちは、戦争が遠くなっていくことを危惧し、今こそ、命の尊さ、絆の大切さを見つめ直し、戦争の悲惨さと平和の大切さを、次の世代にしっかりと語り継ぎ、平和な日本を築いていく責務があります。

来年、平成27年は、戦後70年を、そして沖縄「三重の塔」建立50周年を迎える節目の年にあたります。遺族会の方々とも相談しながら、シンポジウムなどの記念事業を検討しており、戦争の悲惨な実態と教訓を風化させることなく、未来を担う若い世代をはじめとする多くの皆さんに、改めて平和の尊さと大切さについて考えていただく機会にしていきたいと考えています。

今後も皆様とともに、平和としあわせにあふれ、希望と活力に満ちた国を築くため、力の限り尽くすことをあらためてお誓い申し上げます。

最後になりましたが、戦没者の方々のご冥福と、ご遺族の皆様のご平安とご健勝を心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成26年7月4日
 三重県知事 鈴木 英敬

2 普照



基本情報

所 在： 観音堂赤須賀説教所
 住 所： 三重県桑名市大字赤須賀1999
 (JR・近畿電車 桑名駅より 三重交通バス「赤須賀」下車 徒歩5分)
 建 立 者： 赤須賀自治会、郷友会
 建 立 年： 昭和32年4月
 連 絡 先： 城東地区自治会連合会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

普照

(故人名)

【裏】

大東亜戦争昭和二十年七月十七日空襲に際し
 敵弾に斃れたる者は誠に不幸同情に堪えざる
 所なり因て今回同志相計り忠魂碑建設供養と
 共に此の碑を建て、聊か其の霊を慰む

僧 忍阿書

昭和三十二年 四月

赤須賀自治会

郷 友 会

滋 賀 県

1 平和祈念滋賀県戦没者追悼式



※写真提供 滋賀県

開催概要 (平成26年度)

歳事名：平和祈念滋賀県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：大津市民会館
 住所：滋賀県大津市島の関14-1
 (京阪電鉄 島ノ関駅 徒歩3分)
 日時：平成26年8月26日(火) ※例年8月開催
 参列者数：900人
 連絡先：滋賀県 健康医療福祉部 健康福祉政策課 077-528-3514 (直通)

式次第 (平成26年度)

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 1. 開式のことば | 6. 追悼のことば…滋賀県遺族会長、滋賀県議会議長
大津市長 |
| 2. 戦没者名簿奉安 | 7. 追悼電報披露 |
| 3. 国歌斉唱 | 8. 平和宣言 |
| 4. 黙禱 | 9. 献花 |
| 5. 式辞…滋賀県知事 | 10. 閉式のことば |

式辞 (平成26年度)

本日ここに、戦没者ご遺族ならびに各界代表、各関係団体の方々のご参列のもとに、平和祈念滋賀県戦没者追悼式を執り行うにあたり、謹んで戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げます。

先の大戦が終わりを告げてから、69年の歳月が過ぎました。あの激しい戦いの中で、祖国の安泰を願い、家族を安じつつ亡くなられました3万3千人の本県戦没者の心中をお察しするとき、痛恨の情、切々として胸に迫るのを禁じ得ません。

また、戦後の厳しい社会の中で、かけがえない肉親を失うという悲しみに耐えつつも、戦没者への想いを胸に、残された家族が丸となって幾多の苦難を乗り越え、生き抜いてこられましたご遺族の筆舌に尽くしがたいご労苦に対しまして、深く敬意を表します。

今、心静かに過去を振り返りますとき、先の大戦は戦没者のみならず、残された家族、幼い子どもなど、実に多くの犠牲者を出しました。

いまだ、ふるさとへのご帰還を果たされていないご遺骨のことも、決して忘れてはなりません。こうした事実を厳粛に受けとめ、ここに改めてすべての戦争犠牲者の御霊に心からご冥福をお祈りいたします。

わが国は、国民のたゆまぬ努力によって、幾多の困難を乗り越え、現在、世界でも有数の平和で豊かな国となり、経済の分野をはじめ、様々な面で国際貢献を果たすまでになりました。本県におきましても、産業、経済、文化、福祉にと目覚ましい発展を遂げてまいりました。

今日、私たちがこのような平和と繁栄を享受できます礎には、国内外での多数の尊く重い犠牲があったことを忘れてはなりません。

二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、戦争の悲惨さ、むなしさを次の世代にしっかりと語り継ぐとともに、美しい湖国、豊かな人間社会を未来に贈り届けるため、恒久平和の確立に取り組んでいくことが今を生きる私たちの務めであります。

本日、この式典にあたり、帰らざる人々の尊い願いを無にすることなく、戦争から学びとった多くの教訓を深く心に刻み、世界平和の確立と真に豊かな社会の実現のため、一層努力することを、ここに固くお誓い申し上げます。

戦没者の御霊の安らかならんことをお祈り申し上げ、141万県民を代表しての追悼の言葉といたします。

平成26年8月26日
 滋賀県知事 三日月 大造

京 都 府

1 慰霊碑



基本情報

所 在：笠原寺
 住 所：京都府京都市山科区大宅岩屋殿2
 (JR・京阪電鉄・市営地下鉄 山科駅より 京阪バス「京都橘大学」下車 徒歩10分)
 建 立 者：大阪大空襲の体験を語る会
 建 立 年：昭和55年8月
 連 絡 先：笠原寺 075-572-9400

碑 文

【表】

蝶舞いぬ

空爆忌の

花乃蔭

大阪大空襲の体験を語る会

【裏】

昭和五十五年八月建之

2 舞鶴空襲学徒犠牲者慰霊碑



※写真提供 舞鶴空襲学徒犠牲者慰霊碑建立委員会

基本情報

所 在：共楽公園
 住 所：京都府舞鶴市余部下
 （JR東舞鶴駅より 京都交通「中舞鶴」下車 徒歩5分）
 建 立 者：舞鶴空襲学徒犠牲者慰霊碑建立委員会、橋本時代、元動員学徒有志、舞鶴市民有志
 建 立 年：平成26年7月29日
 連 絡 先：舞鶴空襲学徒犠牲者慰霊碑建立委員会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

舞鶴空襲
 学徒犠牲者慰霊

趣 意

舞鶴空襲学徒犠牲者慰霊
 建立の趣意

太平洋戦争の末期、一九四五(昭和二〇)年七月、舞鶴海軍工廠は爆撃をうけ、当時勤労働員されていた学徒も二〇名の犠牲者と多くの負傷者を現出した。

空襲により、青春のすべてを失い、失明の苦難の中で二〇一三年一月に、八〇年余の生涯を終えられた京都市立洛北実務女学校・橋本時代さんの悲願を生かし、死者全員の所属学校名と御名を刻印し、追悼の念を新たにすると共に、平和への強い願いを籠めて、ここに舞鶴市当局のご理解を得て慰霊の碑を建立する。

二〇一四年七月二十九日

舞鶴空襲動員学徒犠牲者慰霊碑建立委員会
 橋本時代 元動員学徒有志 舞鶴市民有志

一九四五年七月二十九日、舞鶴空襲学徒・教師犠牲者の氏名
 京都師範学校
 (故人名)

京都市立洛北実務女学校
 (故人名)

京都市立第二商業学校
 (故人名)

京都府立舞鶴第二高等女学校教諭
 (故人名)

大 阪 府

1 大阪府戦没者追悼式



※写真提供 大阪府

開催概要 (平成26年度)

歳事名：大阪府戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：大阪市中央公会堂
 住所：大阪府大阪市北区中之島1-1-27
 (京阪電鉄 なにわ橋駅 徒歩1分、市営地下鉄・京阪電鉄 淀屋橋駅 徒歩5分)
 日時：平成26年9月12日(金) ※例年9月第2金曜日開催(来年度以降、変更の可能性有り)
 参列者数：1,100人
 連絡先：大阪府 福祉部 地域福祉推進室 社会援護課 恩給援護グループ 06-6944-6662 (直通)

式次第 (平成26年度)

1. 開式のことば…大阪府福祉部長
2. 国歌 斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…大阪府知事
5. 来賓追悼のことば…厚生労働大臣、大阪府議会議長
6. 遺族代表追悼のことば…大阪府遺族連合会会長
7. 献花
8. 閉式のことば…大阪府福祉部長

式辞 (平成26年度)

本日ここに、ご遺族並びにご来賓の皆様のご列席を賜り、大阪府戦没者追悼式を挙げるにあたり、大阪府民を代表して謹んで式辞を申し述べます。

さきの大戦において、祖国を思い、愛する家族を案じつつ、戦場に倒れられた方、戦禍に遭われた方、あるいは、戦後、遠い異郷の地で亡くなられた方など、12万7千余名の戦没者の方々に、改めて880万府民とともに、心からご冥福をお祈りいたします。

また、最愛の家族を失われたご遺族の皆様におかれましては、決して癒されることのない深い悲しみに耐えつつ、幾多の困難を乗り越え、今日の平和で豊かな社会の構築に大きく貢献してこられました。皆様の並々ならぬご苦労とたゆまぬご努力に対し深く敬意を表します。

終戦から69年の歳月が過ぎ、今、私たちが享受する平和と繁栄は、戦没者の方々の尊い犠牲の上にあることを決して忘れてはなりません。

平和で豊かな今日においてこそ、再び戦争の惨禍が繰り返されることのないよう、その教訓を次の世代に語り継ぎ、世界の恒久平和の確立に努めることが、私たちに課せられた重大な責務であると確信いたします。

大阪府は、今後とも戦没者のご遺族への援護に力を尽くし、世界の各国・各地域の人々との幅広い友好交流を通じて、平和で希望に満ちた国際社会の実現に貢献してまいりますことを、ここに固くお誓いいたします。

結びに、常しえに戦没者の御霊の安らかなることと、ご遺族の皆様のご平安とご多幸を心から祈念いたしまして式辞といたします。

平成26年9月12日
 大阪府知事 松井 一郎

2 兵戈無用



基本情報

所 在：法栄寺
 住 所：大阪府大阪市旭区高殿4-7-2
 （市営地下鉄 関目高殿駅 徒歩5分）
 建 立 者：法栄寺
 建 立 年：平成6年6月5日
 連 絡 先：法栄寺 06-6951-7200

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

兵戈無用

戦没者50回忌法要記念

1994年6月5日

経 緯

昭和20（1945）年6月7日の大阪大空襲（3回目の大空襲）では、主に都島区・旭区・東淀川区など淀川兩岸を中心とした地域が被災した。法栄寺の当時の住職は、空襲直後に近隣をまわり、犠牲者二百数十名を弔った。

平成6年（1994）6月5日、戦没者50回忌法要を記念し、空襲犠牲者を追悼する碑を建立した。

碑文の「兵戈無用」は「ひょうがむよう（兵も武器も用いることなし）」と読み、像は親鸞聖人の幼少期の姿をあらわしている。

法栄寺 ご住職の証言をもとに構成

3 忠霊塔



基本情報

所 在：善兵衛ランド 北側
 住 所：大阪府貝塚市三ツ松216
 (水間鉄道 三ツ山口駅 徒歩7分)
 建 立 者：貝塚市
 建 立 年：昭和33年4月
 連 絡 先：貝塚市 健康福祉部 社会福祉課 072-433-7030 (直通)
 ※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

忠霊塔

【裏】

竣 工 昭和33年4月
 施 工 南一建設株式会社
 代表取締役
 南 太 佐 一
 石材施工 岐阜石材株式会社

【右】

祖国の為に命さざげし
 貝塚市出身の英霊
 ここに眠る
 市民の浄財により市制
 拾五周年記念事業と
 してこの忠霊塔を建立
 す 崇魂の安居を希
 い永遠の平和を祈る
 昭和三十三年 四月
 貝塚市長 岡本義雄

4 貝塚市戦没者・戦災死者追悼式



※写真提供 貝塚市

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名：貝塚市戦没者・戦災死者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会 場：忠霊塔前
 住 所：大阪府貝塚市三ツ松216
 (水間鉄道 三ツ山口駅 徒歩7分)
 日 時：平成26年10月16日(木) ※例年10月開催
 参列者数：742人
 連 絡 先：貝塚市 健康福祉部 社会福祉課 072-433-7030 (直通)

式 次 第 (平成26年度)

1. 開 式 の 辞
2. 三 奉 請
3. 導 師 焼 香
4. 遺 族 会 長 式 辞…貝塚市遺族会会長 南 順蔵
5. 来 賓 追 悼 の 辞…貝塚市長 藤原 龍男、貝塚市議会議長 南野 敬介
大阪府遺族連合会会長代理 南 文雄
6. 追悼電報披露
7. 読経
8. 来賓焼香
9. 遺族焼香
10. 閉 式 の 辞

式 辞 (平成26年度)

本日ここに、貝塚市戦没者並びに、戦災死者、追悼式を開催するにあたり、貝塚市遺族会を代表し、式辞を申し述べます。
 諸霊は、先の大戦において、純粋な祖国愛に燃え、一身をも顧みず、戦地に馳せ参じ、遂に再び郷土に帰ることなく、散華せられました。あるいは銃後にあつて、空襲の為、戦禍の犠牲になられたのであります。
 私達が現在、享受している平和と繁栄は、心ならずも命を落とされた方々の、犠牲のうえに、築かれていることを、ひと時も忘れることは、できません。戦没者・戦災死者の方々のご冥福をお祈りし、衷心より追悼の誠を捧げます。
 今年は戦後69年を迎えましたが、当時の悲嘆は、癒えることなく、心に刻印されております。
 一方で、当時を知る遺族が、世を去り、戦争を体験しない世代が大多数を占めることとなったいまこそ、私達の思い、戦没者・戦災死者の無念の思いを代弁することこそを、使命とし、平和な世の中の実現に向けてささやかではあります、活動を続けて参りますことを、お誓いしたいと思います。
 終わりに、ご多忙中にもかかわらず、ご臨席賜りました、ご来賓の皆様方、並びに関係各位に、厚く御礼申し上げますと共に、ご遺族皆様方の益々のご健勝をお祈りし、式辞といたします。

平成26年10月16日
 貝塚市遺族会 会長 南 順蔵

5 被爆碑



基本情報

所 在：八尾市立安中墓地
 住 所：大阪府八尾市南本町9-22
 (JR八尾駅 徒歩12分)
 建 立 者：八尾市
 建 立 年：昭和51年12月
 連 絡 先：八尾市 経済環境部 環境施設課 072-991-7362 (直通)

碑 文

【表】

被爆碑

昭和20年2月18日未明

爆死者名簿

(故人名)

(アイウエオ順)

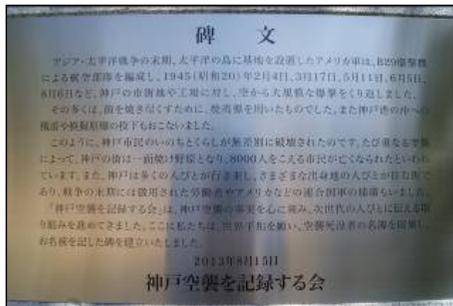
【左】

昭和五拾老年拾貳月建立



兵 庫 県

1 神戸空襲を忘れない いのちと平和の碑



基本情報

所 在：大倉山公園
 住 所：兵庫県神戸市中央区楠町7
 (市営地下鉄 大倉山駅 徒歩2分)
 建 立 者：神戸空襲を記録する会
 建 立 年：平成25年8月15日
 連 絡 先：神戸空襲を記録する会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

神戸空襲を忘れない

いのちと平和の碑

碑 文

アジア・太平洋戦争の末期、太平洋の島に基地を設置したアメリカ軍は B29 爆撃機による航空部隊を編成し、1945 (昭和 20) 年 2 月 4 日、3 月 17 日、5 月 11 日、6 月 5 日、8 月 6 日など、神戸の市街地や工場に対し、空から大規模な爆撃をくり返しました。

その多くは、街を焼き尽くすために、焼夷弾を用いたものでした。また神戸港の沖への機雷や模擬原爆の投下もおこなわれました。

このように、神戸市民のいのちとくらしが無差別に破壊されたのです。たび重なる空襲によって、神戸の街は一面焼け野原となり、8000 人をこえる市民が亡くなられたといわれています。また、神戸は多くの人びとが行き来し、さまざまな出身地の人びとが住む街であり、戦争の末期には徴用された労働者やアメリカなどの連合国軍の捕虜もいました。

「神戸空襲を記録する会」は、神戸空襲の事実を心に刻み、次世代の人びとに伝える取り組みを進めてきました。ここに私たちは、世界平和を願い、空襲死没者の名簿を収集し、お名前を記した碑を建立いたしました。

2013 年 8 月 15 日
 神戸空襲を記録する会

【裏】

(故人名)

2 山陽電鉄空襲犠牲者之碑



基本情報

所 在：山陽電気鉄道 西新町倉庫正門 右脇
 住 所：兵庫県明石市硯町2-5-49
 (山陽電鉄 西新町駅 徒歩3分)
 建 立 者：山陽電気鉄道株式会社、山陽電気鉄道労働組合
 建 立 年：昭和53年8月15日
 連 絡 先：山陽電気鉄道株式会社 総務本部 078-612-2032

碑 文

【表】

空爆犠牲者之碑

(故人名)

由 来

空爆犠牲者に捧げる

一九四五年六月九日九時五十四分、米軍B29爆撃機が明石市上空に来襲 市街に猛爆撃を浴びせ、当地一帯は瓦礫の山と化して消滅した。

このとき 明石車両工場では、戦時下の輸送確保の使命をうけ、身を挺して働いていた三十一名の尊い生命が一瞬にして奪われ、悲惨な爆死をとげられた。

時は流れて三十三年、平和な日々を送るなかで戦禍の痕跡もとどめないが、大空に散華した還らぬ御霊を思うと痛恨の極みである。

尊い犠牲となられた御霊のご冥福を心から祈念するとともに、平和を守ることを固く誓い、これを建立する。

一九七八年八月十五日

山陽電気鉄道株式会社

山陽電気鉄道労働組合

和歌山県

1 橋本駅米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の碑



基本情報

所 在：丸山公園
 住 所：和歌山県橋本市古佐田4-9
 (JR橋本駅 徒歩10分)
 建 立 者：橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼の会
 建 立 年：【追悼の碑】平成24年7月24日 【犠牲者追悼の碑】平成26年7月24日
 連 絡 先：橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼の会 個人宅のため記載せず

碑 文

【追悼の碑・表】

追悼の碑

昭和二十年七月二十四日
 米軍艦載機の銃撃により
 犠牲となられた方々
 のご冥福をお祈りいたします

(故人名)

平成二十四年七月二十四日建立
 追悼世話人一同

【犠牲者追悼の碑・表】

昭和二十年七月二十四日
 橋本駅米軍艦載機銃撃による
 犠牲者追悼の碑

【犠牲者追悼の碑・裏】

平成二十六年七月二十四日
 橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼の会

2 橋本駅米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の集い



※写真提供 橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼の会

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名：橋本駅米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の集い
 会 場：丸山公園 「追悼の碑」前
 住 所：和歌山県橋本市古佐田4-9
 (JR橋本駅 徒歩10分)
 日 時：平成26年7月24日(木) ※例年7月24日開催
 参 列 者 数：70人
 連 絡 先：橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼の会 個人宅のため記載せず

式次第 (平成26年度)

1. 開 会 の 辞…世話人代表 阪口繁昭
2. 慰 霊 塔 除 幕…橋本市長
3. 献 花…遺族代表
4. 来 賓 挨 拶…橋本市長
5. 読 経・焼 香
6. 回 向 文…応其寺 副住職
7. 演 奏…のぞみハーモニカクラブ
8. 閉 会 の 辞…世話人 池永恵司
9. 献 花…(演奏：橋本高校 吹奏楽部)

開会の辞 (平成26年度)

米軍艦載機銃撃による犠牲者追悼の碑を本日、建立することを決定いたしました。今日は平木市長様に除幕をして頂くわけですが、今回初めてという方にはご迷惑をおかけしましたが、私はこの追悼の碑を多くの方々に後世に語り継いでもらえるようにご案内したわけであります。

当時、松根油を牽引した貨物列車が橋本駅に停車中に米軍機による機銃掃射を受け、碑に記した6名が亡くなりました。この事実を語り継いでいきたいと思っております。

鳥 取 県

1 大山口列車空襲 慰霊の碑



※写真提供 山陰歴史館

基本情報

所 在：JR大山口駅前
 住 所：鳥取県西伯郡大山町国信544
 (JR大山口駅 徒歩1分)
 建 立 者：大山口列車空襲被災者の会
 建 立 年：平成4年7月28日
 連 絡 先：大山口列車空襲被災者の会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】
 大山口列車空襲
 慰霊の碑
 (故人名)

【裏】
 平成四年七月二十八日
 大山口列車空襲被災者の会建立

協賛
 大山町
 名和町
 中山町
 淀江町

由 来

由来記

昭和二十年(一九四五)七月二十八日、午前八時頃、大山口駅東方約六百メートルの上野地区切割りに避難した、鳥取始発出雲今市行第八〇九列車に、米軍艦載機三機が銃爆撃を加えた。死亡四十四名、負傷三十一名以上の犠牲者を出し、上野では全半焼三戸の火災も発生した。

列車は十一両編成、前二両は病客車で、呉海軍病院三朝分院を転送する軍、工廠関係者と付添いの衛生兵、日赤救護看護婦が乗り他の一般客車は、番号演習に動員された国民義勇隊、勤労動員学徒、軍需工場徴用者、一般乗客等で超満員であった。米軍機の機銃弾とロケット弾による攻撃は、前四両に集中、死傷者の折り重なる惨状を呈した。

敗戦直前、乗客は本土決戦体制下にあったが非戦闘員であり、更に病客車には大きく赤十字マークが書かれていたにもかかわらず、米軍機は執拗に攻撃を繰り返し、静かな田園は一瞬にして惨劇の場と化した。その日を境として、遺族被災者の苦難の日々が永く続くことになった。

平成三年四十七周忌の合同慰霊祭を機に、大山口列車空襲被災者の会がつくられ、その呼びかけに応えた県内外の遺族被災者等一千有余の人々の協賛、関係町等の支援によってこの碑は建てられた。

愛する肉親を失った遺族の悲しみは消えず死者は無念の思いを語るができない再びかかる悲惨を繰り返してはならない誓いと鎮魂の祈りをこめてこの碑を建立する。

平成四年七月二十八日
 大山口列車空襲被災者の会

2 慰霊と平和祈念の集い



※写真提供 大山口列車空襲被災者の会

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名：慰霊と平和祈念の集い
 会 場：大山公民館
 住 所：鳥取県西伯郡大山町末長269-1
 (JR大山口駅 徒歩3分)
 日 時：平成26年7月28日(月) ※例年7月28日開催
 参 列 者 数：約100人
 連 絡 先：大山口列車空襲被災者の会 個人宅のため記載せず

式次第 (平成26年度)

1. 開 会 の こ と ば
2. 黙 禱
3. 会 長 あいさつ…大山口列車空襲被災者の会会長
4. 来 賓 あいさつ…大山町長、大山町教育長
5. ご遺族あいさつ…遺族代表
6. 平 和 へ の 祈 り…学童(大山西・大山・名和・中山)
7. 祈 禱・焼 香…神宮寺住職
8. 閉 会 の こ と ば

会長あいさつ (平成26年度)

こんにちは。今日も暑い日になりました。あれから六十九年になり皆様にご参加いただき誠にありがとうございます。皆様のご協力により慰霊と平和祈念の集いを継承出来ますこと、感謝申し上げます。あの惨劇の日から六十九年が経過したにもかかわらず、当事者の私たちに描きましては昨日の様な感覚しかありません。当時十歳の私でしたが、いまだにあの日の事柄が日々の生活の中でもふとしたときに浮かんできます。いまだに口にすることも忌まわしく、悲しく言葉にできません。飛行機の爆音を聞きますとあの光景を思い胸が締め付けられるようになります。のちに祖母から聞いた話ですが大山の方から真っ黒に連なった飛行機が迫ってきて、そのうち6機が大山口の列車を襲ったと聞きました。今日の私たちの幸せは、前世代の方々の並々ならぬ苦勞のうえに成り立っています。二度とこのような悲惨な出来事を繰り返さないよう、戦争の愚かさ悲慘さを次世代に語り継いでいくことが私どもの使命であることを自覚し、御魂の安らからんことをお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。合掌

大山口列車空襲被災者の会 代表 山林 紀代美

広島県

1 竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典



※写真提供 竹原市

開催概要 (平成26年度)

歳事名：竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典
 会場：竹原市民館 大ホール
 住所：広島県竹原市中央5-5-24
 (JR竹原駅 徒歩5分)
 日時：平成26年8月8日(金) ※例年8月上旬開催
 参列者数：約300人
 連絡先：竹原市 市民生活部 福祉課 福祉総務係 0846-22-7742 (直通)

式次第 (平成26年度)

1. 開式の辞…実行委員会
2. 国歌 斉唱
3. 献茶…裏千家淡交会
4. 黙祷
5. 式の辞…実行委員会委員長
6. 追悼の辞…竹原市議会議長、広島県遺族会会長、衆議院議員、広島県知事
7. 献花
8. 平和祈念行事…誓いの言葉、コーラス
9. 閉式の辞…実行委員会

式辞 (平成26年度)

本日ここに、ご遺族並びに多数のご来賓の皆様のご臨席をいただき、平成26年度竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典を挙げるに当たり、実行委員会を代表いたしまして、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

さて、多くの尊い命が犠牲となった先の大戦から69年の歳月が過ぎ去ろうとしています。

戦後わが国は、悲惨な戦争を二度と繰り返さないことを誓いながら、国家の復興と繁栄を目指し、国民ひとりひとりが努力を積み重ねてきた結果、今こうして、平和と豊かさを享受しています。

しかしながら今日、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、戦争によってかけがえない命を落とされた方々の重く尊い犠牲と、癒されることのない深い悲しみに耐え、幾多の困難を克服してこられたご遺族の皆様方のご労苦の上に築かれていることを、決して忘れてはなりません。

国民の大半が戦争の悲劇を知らずに育った世代である今、戦争の悲惨さと、平和の尊さを風化させることなく次の世代に語り継ぐと共に、世界の恒久平和の確立に全力を尽くすことを、皆様と共に改めてお誓い申し上げます。

終わりに、御霊の安らかならんことを、そしてご遺族の皆様方をはじめ、ご参列の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成26年8月8日
 竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典
 実行委員会委員長
 竹原市長 吉田 基

山 口 県

1 山陽小野田市戦没者追悼式



※写真提供 山陽小野田市

開催概要（平成26年度）

歳事名：山陽小野田市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：山陽小野田市民館 文化ホール
 住所：山口県山陽小野田市栄町9-25
 （JR南中川駅 徒歩10分）
 日時：平成26年10月12日（日） ※例年10月開催
 参列者数：140人
 連絡先：山陽小野田市 健康福祉部 社会福祉課 地域福祉係 0836-82-1174（直通）

式次第（平成26年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙 禱
4. 式 辞…山陽小野田市長 白井 博文
5. 追悼のことば…山口県知事、山陽小野田市議会議長、山口県遺族連盟会長
山陽小野田市連合遺族会会長
6. 献 花
7. 遺族代表謝辞
8. 閉式のことば

式 辞（平成26年度）

本日ここに戦没者御遺族をはじめ多くの御来賓の皆様方の御臨席のもと、山陽小野田市戦没者追悼式を挙行するにあたり、戦没者の御霊に謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦では、苛烈を極めた戦いの中、祖国を思い、残された家族を案じつつ無念にもその尊い命を犠牲にされました。戦後69年という長い時を経ても、なお癒されることのない御遺族の皆様方の深い悲しみと追慕の念に思いをいたす時、万感胸に迫るものがあります。昨年度まではこの山陽小野田市戦没者追悼式を平日に挙行してまいりましたが、戦没者の孫、ひ孫の世代にも参列をしていただきたいという思いから今年度初めて日曜日に挙行することにいたしました。戦没者御遺族の高齢化が進んでいる中、戦争の記憶を風化させないために全世代を通して御参列していただけることを期待するところです。

さて、戦後我が国は、世界に誇る経済大国、また平和国家として国際社会の中で確固たる地位を築きました。山陽小野田市においても、市民の皆様のご智と懸命の御努力により、戦災から目覚しい復興を遂げてまいりましたが、その礎には戦没者の皆様方の重く尊い犠牲があり、先人の弛まぬ御努力があることを私たちは決して忘れてはなりません。また、長きにわたり、家族を亡くされた悲しみに耐えながら、戦没者の志を引き継いで家族を支え、今日まで歩いてこられた御遺族の皆様方に深甚なる敬意を表するものであります。

世界に目を向けますと、今年はウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ紛争などが大きく報道されました。現在におきましてもシリア領イスラム国を含む過激派勢力の不穏動きが見られております。今日も罪のない多くの人々が傷つき、尊い命が失われておりますことは、誠に残念でなりません。現在、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄が、戦禍の中で散った多くの尊い犠牲の上に成り立っているという事実を決して忘れてはならないと思います。

山陽小野田市に暮らす私達は、戦没者の方々がかけがえのない命をもって示された、戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく、次の世代へしっかりと継承し、日本国憲法の恒久平和の理念のもと、先人のこのころを受け止め、本市のより一層の発展と豊かで住みよいまちを目指して努力して参ります。

終わりに、戦没者の御霊がとこしえに安らかならんことを御祈念申し上げますとともに、御遺族の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈りしまして、式辞といたします。

平成26年10月12日
山陽小野田市長 白井 博文

香 川 県

1 香川県戦没者追悼式



※写真提供 香川県

開催概要 (平成26年度)

歳事名：香川県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：香川県庁ホール
 住所：香川県高松市番町4-1-10
 (高松琴平電鉄 瓦町駅 徒歩10分)
 日時：平成26年7月29日(火) ※例年8月初旬開催
 参列者数：340人
 連絡先：香川県 健康福祉部 長寿社会対策課 087-832-3264 (直通)

式次第 (平成26年度)

1. 開式の辞
2. 拝礼
3. 国歌斉唱
4. 黙とう
5. 式辞…香川県知事
6. 追悼の辞…来賓
7. 献花…香川県知事、来賓、遺族
8. あいさつ…香川県知事
9. 閉式の辞

式辞 (平成26年度)

本日、御遺族並びに御来賓の皆様方多数の御参列をいただき、香川県戦没者追悼式を執り行うに当たり、県民を代表し、謹んで追悼の誠を捧げます。

ここに鎮まります御霊は、あの苛烈な戦いの中で、祖国日本の安寧を願い、郷土に残した家族を案じながら、戦場に散り、あるいは空襲に倒れ、さらには戦後遠い異郷の地において、帰らぬ人となられた方々です。

終戦から69年を迎えようとする今なお、尊い命を捧げられた方々の苦しみや御無念、また、最愛の肉親を奪われた御遺族の御心情と御労苦を思いますと、深い哀惜の念を禁じ得ません。

戦後、我が国は廃墟と混乱の中から立ち上がり、目覚ましい復興を遂げ、今日では国際社会においても重要な地位を占めています。

私たちのふるさと香川も、県民一人ひとりの英知とたゆみない努力により、着実に発展を遂げており、さらに、「せとうち田園都市の創造」の実現に向け、「元気・安心、夢と希望あふれる香川づくり」に一路邁進しています。

しかし、私たちは、現在の繁栄が志半ばに亡くなられた多くの方々の犠牲の上に築かれたものであること、そして、今なお多くの人が戦争で受けた傷や病に苦しんでいることを、深く心に刻み、ひとときも忘れてはなりません。

戦争の悲惨な体験を風化させることなく、次の世代に伝えていくことが私たちの使命であり、家族や友人を戦争で失う悲しみが再びもたらされることのないよう、これからも恒久平和の実現に向けて努力し、豊かな郷土を築いてまいりますことをお誓いいたします。

ここに、戦没者の御霊が安らかに眠られますこととお祈りいたしますとともに、御遺族の皆様方のますますの御健勝、御多幸を心から祈念して、式辞といたします。

平成26年7月29日
 香川県知事 浜田 恵造

愛 媛 県

1 愛媛県戦没者追悼式



※写真提供 愛媛県

開催概要 (平成26年度)

歳事名：愛媛県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：ひめぎんホール（メインホール）
 住所：愛媛県松山市道後町2-5-1
 （伊予鉄道 南町・県民文化会館前駅 すぐ）
 日時：平成26年8月15日（金） ※例年8月15日開催
 参列者数：約2,000人
 連絡先：愛媛県 保健福祉部 長寿介護課 援護恩給係 089-912-2434（直通）

式次第 (平成26年度)

1. 開 式
2. 国歌 斉 唱
3. 黙 と う
4. 式 辞…知事
5. 追 悼 の 辞…県議会議長、遺族代表
6. 追悼電報の披露…厚生労働大臣、厚生労働省社会・援護局長
7. 献 花
8. 閉 式

式 辞 (平成26年度)

戦没者を追悼し平和を祈念する日を迎え、愛媛県戦没者追悼式を厳かに執り行うに当たりまして、戦没者の御霊に謹んで哀悼の言葉を申し上げます。

幾多の苦しみと深い悲しみをもたらした先の大戦が終わりを告げてから、はや69年の歳月が過ぎ去りました。

この間、我が国は、焦土の中から国民のたゆまぬ努力の積み重ねによりまして、飛躍的な発展を遂げ、世界に類を見ない平和で豊かな国家を築いて参りました。

しかしながら、今日の平和と繁栄の陰には、苛烈を極めた戦いで傷つき倒れ、あるいは戦後に至るまで異境の地に残され、最期まで祖国の安泰と家族の無事を念じつつ、帰らぬ人となった方々の大きな犠牲と、かけがえのない肉親を亡くされた御遺族の皆様の大変な御苦労があったことを、私たちは決して忘れてはなりません。

ここに、犠牲となられました戦没者の御霊に対しまして、謹んで追悼の誠を捧げますとともに、深い悲しみの中で、多くの苦難を乗り越えられ、今日まで歩んで来られました御遺族の皆様へ、心からお慰めを申し上げます。

御案内のとおり、世界を見渡しますと、今なお、一般市民を巻き込んだテロや武力紛争などによって、尊い命が傷つき、うばわれる悲痛な出来事が後を絶たず、誠に残念でなりません。

歌人・与謝野晶子が、当時、戦争が激化していく状況を嘆いた「秋風やいくさ初まり港なるたゞの船さえ見て悲しけれ」という未発表歌が、先般発見されました。戦後生まれが人口の大部分を占めるようになった現在、戦争経験者の子であり、孫である私たちが、戦争の悲惨さを風化させることなく、何物にも代えられない平和の尊さを、次代を担う子どもたちにしっかりと語り継ぎ、こうした歌が再びよまれることのない、真に平和な社会の構築に向け、不断の努力を続けていくことが極めて重要であります。

このような中、県におきましては、前向きな気持ちと思いやりの心が結集した「愛顔」の輪が県内一円に大きく広がり、県民の皆様が愛媛ならではの幸せのかたちを見つけ、それを創ることができるよう、「愛顔あふれる愛媛づくり」に全力で取り組んでいるところです。

本日の戦没者追悼式に当たり、あの悲しい歴史を二度と繰り返すことのないよう、8月15日が我が国の平和の原点であることを改めて心に刻み、恒久平和への思いを新たに、ふるさと愛媛の限りのない発展のため、県民の皆様と心をつなげて着実に歩みを進めて参りますことを、ここに固くお誓いいたします。

終わりになりますが、戦没者の方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、御遺族、並びに御列席の皆様方がいつでもお元気で、お幸せでありますよう祈念申し上げます、式辞といたします。

平成26年8月15日
 愛媛県知事 中村 時広

福岡県

1 福岡県戦没者追悼式



※写真提供 福岡県

開催概要（平成26年度）

歳事名：福岡県戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：福岡県立福岡武道館
 住所：福岡県福岡市中央区大濠1-1-1
 （市営地下鉄 六本松駅 徒歩10分）
 日時：平成26年8月15日（金） ※例年8月15日開催
 参考者数：1,100人
 連絡先：福岡県 福祉労働部 保護・援護課 援護恩給係 092-643-3301（直通）

式次第（平成26年度）

1. 開式の言葉…福岡県福祉労働部長
2. 国歌斉唱
3. 主催者式辞…福岡県知事
4. 黙とう
5. 追悼の言葉…福岡県議会議長、福岡市長、福岡県遺族連合会会長、遺族代表
6. 追悼電報披露
7. 献花…福岡県知事、特別来賓、遺族代表、一般来賓、一般遺族、福岡県福祉労働部長
8. 閉式の言葉…福岡県福祉労働部長

式辞（平成26年度）

本日ここに、御遺族の皆様をはじめ、御来賓、関係団体の皆様の御参列を得て、平成26年度福岡県戦没者追悼式を執り行うにあたり、謹んで式辞を申し上げます。

先の大戦が終りを告げてから、69年目となる終戦の日を迎えました。

かけがえのない命を失われた多くの方々、そして、その御遺族の皆様を思いますとき、今なお深い悲しみが胸に迫ってまいります。

祖国の平和を願い、愛する家族を案じつつ、心ならずも戦場に倒れられた方々、また、銃後の地、あるいは遠い異郷の地において、亡くなられた方々に対しまして、心から御冥福をお祈り申し上げます。

最愛の肉親を失われた御遺族の皆様におかれましては、今日まで、癒えることのない深い悲しみに耐えながら、その御遺徳を偲び、故人を顕彰し、そして、互いに励まし合って、苦難を乗り越えてこられました。そのことに、改めて深く敬意を表します。

昨年の秋、世界各地で活動されている県人会の皆様が一堂に会して、12年ぶりに、本県で「海外福岡県人会世界大会」を開催いたしました。その開会式で、小学生の合唱団が唱歌「ふるさと」を歌いましたが、それは、すぐに会場全体が涙を流しながらの大合唱となりました。遠く海外で生活されている県人会の皆様、母国である日本の国、そして母県であり、ふるさと福岡県のことを片時も忘れない、その強い思いがひしひしと伝わってまいりました。我々が愛してやまないこの「ふるさと福岡県」。まさに、先人の、先の大戦で犠牲になられた方々の思いも同じであったと思います。

昨今、毎日のように報じられておりますとおり、世界の各地で、今なお、激しい地域紛争、民族間の争いが続いており、多くの尊い命が奪われています。私たちは、アジアをはじめ、世界の国々との交流を深め、良好な友好関係を築くことによって、世界の恒久平和に寄与すべく、一層の努力を続けていかなければなりません。また、戦禍の犠牲になられた方々が、そのご家族、ふるさと、そしてこの日本の国に寄せられた限りない愛情を、改めて深く心に刻み、帰らざる方々の尊い願いを決して無にすることのないよう、平和を強く希求し、安心して心豊かに暮らすことのできる福岡県にしていきますことを、ここに固くお誓い申し上げます。

終わりに、先の大戦で亡くなられた方々の御霊の安らかならんことを、そして、御遺族の皆様のお健勝と御多幸を心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成26年8月15日
 福岡県知事 小川 洋

2 大牟田市戦没者追悼式



※写真提供 大牟田市

開催概要（平成26年度）

歳事名：大牟田市戦没者追悼式 ※一般戦災死死者を含む
 会場：大牟田文化会館 大ホール
 住所：福岡県大牟田市不知火町2-10-2
 （JR、西鉄電車 大牟田駅 徒歩5分）
 日時：平成26年11月5日（水） ※例年11月開催
 参加者数：337人
 連絡先：大牟田市 保健福祉部 福祉課 0944-41-2663（直通）

式次第（平成26年度）

1. 献花の入場
2. 開式のことば…大牟田市保健福祉部長
3. 一同拝礼
4. 黙祷
5. 祭主式辞…大牟田市長
6. 追悼のことば…大牟田市遺族連合会長、大牟田市戦災死没者遺族会長、福岡県知事、福岡県遺族連合会長、大牟田市議会議長
7. 追悼電披露
8. 献花
9. 祭主挨拶…大牟田市長
10. 遺族会長謝辞…大牟田市遺族連合会長、大牟田市戦災死没者遺族会長
11. 一同拝礼
12. 閉式のことば…大牟田市保健福祉部長

式辞（平成26年度）

日、一日と秋の深まりを感じさせる本日、平成26年度大牟田市戦没者追悼式を執り行うにあたり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

顧みますれば、先の大戦において、多くの人々がひたすら祖国と家族の安泰を念じつつ、国の内外で、尊い犠牲となりましたことは、私たちにとって、永遠に忘れることのできない、深い悲しみであり、痛恨の情を禁じえないものがあります。

今、ここにありし日のお姿をお偲び申し上げ、最愛の肉親を亡くされた後、長い苦難の途を歩んでこられた、ご遺族の皆様のこれまでのご心労をお察し申し上げますとき、万感胸に迫るものがあります。

戦後69年、わが国がこのように発展できたことは、祖国を思い、家族を案じつつ戦場で斃られた戦没者の方々、さらに国の内外において戦争の犠牲となりました戦災死没者の方々の思いと、ご遺族の方々の悲しみと苦難に満ちたご努力が礎となっていることを思わずにはられません。

本日、ご遺族並びに、ご来賓各位のご臨席を仰ぎ、御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますとき、改めて、戦争というものの悲惨さ、空しさ、そして平和の尊さを切実に感じるものであります。

本市におきましては、誰もが住み慣れた地域で、人としての尊厳を持って、生き生きと、自立した生活を安心して送れるまちづくりのため、地域に根ざした福祉や教育・文化をはじめとして、防災や防犯などの安心・安全な地域を主体とした支え合い助け合う地域づくりの取り組みを、市民、各種団体と一体となって進めております。

本日、私はこの式典に臨み、ここに、帰らざる方々の尊い願いを決して風化させることなく、永く後世に語り伝え、再び戦争の惨事が繰り返されることのないよう、世界の恒久平和の確立のため、そして文化の香り豊かな美しい郷土をおおむたを築くため、なお一層の努力をいたしますことを、御霊の前においてお誓い申し上げます。

終わりに、4千有余の御霊が、とこしえに安らかならんことをお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。追悼の言葉といたします。

平成26年11月5日
 大牟田市長 古賀 道雄

3 慰霊塔



基本情報

所 在：延命公園
 住 所：福岡県大牟田市昭和町223
 （JR・西鉄電車 大牟田駅より 西鉄バス「警察署前」下車 徒歩10分）
 建 立 者：終戦三十周年記念慰霊塔建設委員会
 建 立 年：昭和50年10月
 連 絡 先：大牟田市遺族連合会 0944-52-2855

碑 文

【表】

慰霊塔

【裏】

大東亜戦争三十周年記念事業として
 大牟田市出身戦歿者並びに戦災死歿者の
 霊を慰めるためこの塔を建立する

昭和五十年十月

終戦三十周年記念慰霊塔建設委員会

題字 福岡県知事 亀井 光

設計施工 後藤工務店

鹿 児 島 県

1 山川戦没者追悼式



開催概要（平成26年度）

歳事名：山川戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：山川文化ホール
 住所：鹿児島県指宿市山川新生町35
 （JR山川駅より 鹿児島交通「山川支所前」下車 すぐ）
 日時：平成26年10月22日（水） ※例年10月中下旬開催
 参列者数：約150人
 連絡先：山川遺族会 個人宅のため記載せず

式次第（平成26年度）

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1. 開式のことば | 6. 献花 |
| 2. 一同拝礼 | 7. 式電披露 |
| 3. 黙祷 | 8. 一同拝礼 |
| 4. 式辞…山川遺族会長 | 9. 閉式の挨拶 |
| 5. 追悼のことば…指宿市長、指宿市議会議長
鹿児島県遺族連合会長 | 10. 閉式のことば |

式辞（平成26年度）

本日は、ここに第63回山川戦没者追悼式を執り行いましたところ、来賓ならびに遺族の方々多数ご列席いただき誠にありがとうございます。また、開催にあたりご尽力いただきました、指宿市役所および社会福祉協議会の関係者の皆様に篤く御礼申し上げます。

さて、追悼式の経緯を振り返ってみますと、昭和34年11月に当時の山川町長 伊佐丑之助氏を会長に、山川町戦没者慰霊塔建立期成会が発足しました。遺族会、町議会、傷痍軍人会、区長会、婦人会等のご尽力により、町内有志の方々から多額の寄付金が寄せられ、昭和35年9月、山川の町並みや鶴の港、錦江湾を望む愛宕山の頂に日露戦争以降の戦死者820柱の御霊が祀られた立派な慰霊塔が建立されました。

それ以降、当時の中間定三遺族会長に始まり歴代会長を中心に、山川町役場職員等の協力を得て毎年慰霊塔前にて神仏両方式の慰霊祭が執り行われて参りました。

しかしながら、遺族の高齢化が進み高台での慰霊祭執行は困難な状況となったことから、現在の文化ホールでの追悼献花方式へと形を変え続けてきております。

戦時中出征していく夫や息子、また父親を見送った日のこと、またその人達が骨となり帰ってきた日、それぞれに戦中戦後の辛く貧しく苦しかった時代のことは、筆舌に尽くせぬ思い出となって残っていることでしょうか。

私の父も出征して一カ月でマニラ湾で魚雷攻撃を受けて撃沈され戦死しました。国民学校2年生の時、叔父に手を引かれて、二月田の旧指宿女学校講堂まで遺骨を引き取りに行きましたが、白木の箱の中に遺骨はなく、小さな木片が入っただけでした。その時の情景が今も心に深く焼き付いています。

その後自宅も焼夷弾により全焼するなど、夫も家も失った母が、他の多くの遺族がそうであったように、大変な苦勞に耐え私たちを育ててくれた恩を忘れることはできません。

母たちが、まだ2～300名健在だった頃、遺族会青年部による「母に感謝する集い」を開催していた際には、歌・踊り・琴の演奏・詩吟等多彩な出し物でのひと時を大変喜んでもらったのはわずかも恩に報いることになったのではないのでしょうか。

その母たちも今ではわずか10人余りになり、私たち遺児も来年は最も若い者でも満70歳を迎えます。

旧山川町民だけでの追悼式を続けることは難しい状況が差し迫っておりますが、御霊を慰め、二度と戦争のない平和日本を守っていくという誓いを新たにすることを継続していくことは、遺族に課せられた使命と考えます。

また、世界では各地の紛争やテロで家族を失い憎しみの連鎖を断つことのできない状況が続いていること、日本でも、今夏の広島土砂災害や、つい先日の御獄山の噴火など自然災害でたくさんの犠牲者が出ていることを思うと心が痛みます。

そのような中でも、私たちが平和に穏やかに過ごせていることをありがたく思い、皆様と共に祈ることができることに感謝いたします。

最後に、ご列席の皆様方のご多幸を心から祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成26年10月22日
 山川遺族会長 藤坂 吉章

2 戦没学童慰霊之碑



基本情報

所 在：山川文化ホールそば（旧山川小学校跡地）
 住 所：鹿児島県指宿市山川新生町35付近
 （JR山川駅より 鹿児島交通「山川支所前」下車 徒歩1分）
 建 立 者：同級生男女一同、有志一同
 建 立 年：平成17年6月
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【表】

戦没学童慰霊之碑

昭和二十年六月二十日

第二次世界大戦中にアメリカの
 グラマン戦闘機の機銃掃射により
 山川小学校生徒（高等科一年）の
 五人が犠牲に一人が負傷

（故人名）

【裏】

建立協力者
 同級生男女一同
 有志一同
 遺族
 （個人名）

平成十七年六月吉日

3 霧島市戦没者追悼式



※写真提供 霧島市

開催概要 (平成26年度)

歳事名：霧島市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：隼人農村環境改善センター
 住所：鹿児島県霧島市隼人町内山田1-14-10
 (JR隼人駅 徒歩5分)
 日時：平成26年7月25日(金) ※例年7月下旬～8月上旬開催
 参列者数：約200人
 連絡先：霧島市 保健福祉部 保健福祉政策課 0995-64-0904 (直通)

式次第 (平成26年度)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 開式のことば | 7. 献 詠 |
| 2. 拝 礼 | 8. 献 花 |
| 3. 国 歌 斉 唱 | 9. 式 電 披 露 |
| 4. 黙 と う | 10. 拝 礼 |
| 5. 市 長 式 辞…霧島市長 | 11. 閉 式 の こと ば |
| 6. 追 悼 の こと ば…霧島市議会議長 | 12. 記 念 演 奏 会 |
- 霧島市遺族会連合会会長

式 辞 (平成26年度)

本日ここに 来賓各位 ご遺族の皆様方をはじめ 多くの方々にご参列賜り 平成26年度 霧島市戦没者追悼式を厳粛な中にも盛大に挙行できますことに 心から感謝申し上げます
 先の大戦において 家族を案じ 祖国の興隆を念じつつ 戦地にたおれた御霊と ふるさとで戦禍に遭い帰らぬ人となった御霊に対し 謹んで哀悼の誠を捧げます
 先の大戦から早や69年が過ぎ去ろうとしております
 今の世に生きるすべての人々がこぞって 数多の尊い命を 人柱として失った 凄惨な過去に 心静かに思いを馳せ 自らに問い そして自戒する時季を迎えました
 想像を絶する犠牲と 筆舌に尽くし難い苦難の歴史を経て 今を生きる私たちが 平和 秩序 自由 繁栄を享受できていることを 改めて深く認識しなければならない時季であります
 戦地はもとより このふるさとも流れた おびたしい血と涙の先に 今日私たちがいることを 胸に深く刻んで 霧島市民とともに 静かに頭を垂れたいと思います
 私は学生時代に 日本青年遺骨収集団の先頭に立ち 自らの手で幾千もの遺骨を収集し 茶臼に付し 千鳥ヶ淵に納めた経験を持つ一人であり 戦争のいわば追体験とも言える 貴重な体験を通して 戦争の悲惨さや恐ろしさを深く認識しており 二度と戦争を繰り返してはならないと 固く念じております
 戦争経験者は 高齢化とともに徐々に少なくなりつつあり 歳月の経過に伴う戦争の風化が懸念されるところであります 戦争による数々の悲劇を それぞれの立場で後世に伝承すると同時に これまで築き上げてきた不戦の誓いと 平和を希求する歩みを 社会全体で再認識しながら 惨劇を繰り返さないための努力をたゆみなく続けていかなければなりません
 さて 先人が自らの命を投げ打って 守り抜こうとした 私たちのふるさと霧島市は 約13万人の人口を擁する 鹿児島県内2番目の都市として 観光・産業に代表される 地域の特性を発揮しながら 今日まで発展してまいりました
 一方では 家畜伝染病 集中豪雨 新燃岳の大噴火など 自然の猛威が立ちはだかることもありましたが 迅速に対策を講じながら 最小限の被害にとどめてまいりました
 さらに今 霧島連山や錦江湾を取り巻く自治体との結びつきを強め より広域的な課題解決につなげる取組みや自然遺産の価値を国内のみならず 世界に知らしめる取組みなどを通じて ふるさとの魅力を発信しながら 人と自然が輝き 人が拓く 多機能都市の実現を目指しております
 今年は 霧島山が日本最初の国立公園に指定されてから80周年に当たり 戦後七十年を教える来年は 霧島市誕生10周年を迎える 節目の年でもあります
 その記念すべき年に 文化の国体と称される 国民文化祭が 本市で開催されることとなっており すでにこの歴史的な取組みに向け準備を開始しているところであります
 今後におきましても 霧島市の持つ魅力・地域力を最大限に活かしながら 市民一丸となって 日本一のふるさとづくりを目指して邁進いたしますとともに 私たちが引き継いだ この悠久のふるさとを 平和とともに 次世代に継承していく努力をいたします
 結びに 今を生きる者として 改めて平和への決意を新たに し 恒久平和の確立と 心豊かに生き生きと暮らせるふるさとを築き上げていくため 全力を尽くしてまいりますことを ここにお誓い申し上げますとともに 御霊が安らかに鎮まり賜い ご遺族をはじめ 霧島市民へのご加護を賜りますことを 祈念いたします
 式辞といたします

平成26年7月25日
 霧島市長 前田 終止

平成22年度～平成26年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

集計表

【表1】 都道府県別 追悼施設 形状

都道府県	総数	塔・碑・墓	像・モニュメント	地蔵・観音	堂・建物
北海道	9	8	1		
青森県	5	3	1	1	
岩手県	6	3	2	1	
宮城県	2	1	1		
秋田県	5	4	1		
山形県	0				
福島県	2	2			
茨城県	4	3	1		
栃木県	3	2		1	
群馬県	4	3		1	
埼玉県	5	2	2	1	
千葉県	7	7			
東京都	66	36	5	20	5
神奈川県	14	10	1	3	
新潟県	8	6	2		
富山県	4	1		2	1
石川県	0				
福井県	4	2		2	
山梨県	4	3		1	
長野県	1	1			
岐阜県	6	6			
静岡県	10	9		1	
愛知県	11	8		3	
三重県	9	7	1	1	
滋賀県	1	1			
京都府	6	5		1	
大阪府	45	32	3	10	
兵庫県	21	18	2	1	
奈良県	1	1			
和歌山県	6	4		2	
鳥取県	1	1			
島根県	0				
岡山県	5	3	2		
広島県	11	5	2	2	2
山口県	5	3	1	1	
徳島県	2	2			
香川県	2	1			1
愛媛県	7	7			
高知県	3	3			
福岡県	18	8	1	9	
佐賀県	2	2			
長崎県	11	4	7		
熊本県	2	2			
大分県	4	3	1		
宮崎県	4	4			
鹿児島県	6	6			
沖縄県	22	20	2		
総計	374	262	39	64	9

【表2】 都道府県別 追悼施設 建立年代

都道府県	総数	～1944年 (～昭和19年)	1945～1954年 (昭和20～29年)	1955～1964年 (昭和30～39年)	1965～1974年 (昭和40～49年)	1975～1984年 (昭和50～59年)	1985～1994年 (昭和60～平成6年)	1995～2004年 (平成7～16年)	2005～2014年 (平成17～26年)	建立年 不明
北海道	9		2	1	1		2	3		
青森県	5			1		1		1	2	
岩手県	6		1	1			1	1	2	
宮城県	2		1					1		
秋田県	5				1	1	2	1		
山形県	0									
福島県	2				1			1		
茨城県	4			1		1	2			
栃木県	3			1	1			1		
群馬県	4		1	1		2				
埼玉県	5			3		2				
千葉県	7		1	2	1	2	1			
東京都	66	2	15	13	9	4	6	10	3	4
神奈川県	14		5	1	2	3	2			1
新潟県	8		2	1				3	2	
富山県	4		1		1	1	1			
石川県	0									
福井県	4		1	2		1				
山梨県	4		1	2		1				
長野県	1		1							
岐阜県	6		2	2	1	1				
静岡県	10		3	2	1	3		1		
愛知県	11		4	2		2	1	2		
三重県	9		1	2	1	2	1	2		
滋賀県	1					1				
京都府	6		1		2	1		2		
大阪府	45		10	13	7	9	4	1	1	
兵庫県	21		2	2	4	4	5	2	2	
奈良県	1					1				
和歌山県	6		1	1	1	2			1	
鳥取県	1				1					
島根県	0									
岡山県	5		1	1		1	2			
広島県	11		2	4	2		2		1	
山口県	5			2	1	1		1		
徳島県	2		1						1	
香川県	2							2		
愛媛県	7		1	1	2		1		2	
高知県	3						1	2		
福岡県	18		10	3	2	1	1	1		
佐賀県	2		1						1	
長崎県	11			4	2	4	1			
熊本県	2			1		1				
大分県	4				1	2		1		
宮崎県	4				1	1		1	1	
鹿児島県	6			1	1	1		2	1	
沖縄県	22		8	5	3		2	4		
総計	374	2	80	76	50	57	38	46	20	5

【表3】 都道府県別 追悼施設 建立者

都道府県	総数	地方自治体	民間等	個人	不明
北海道	9	2	7		
青森県	5	1	3	1	
岩手県	6	1	3	1	1
宮城県	2	1	1		
秋田県	5		5		
山形県	0				
福島県	2		1	1	
茨城県	4		4		
栃木県	3		3		
群馬県	4		4		
埼玉県	5		4	1	
千葉県	7	2	5		
東京都	66	10	46	8	2
神奈川県	14	3	10		1
新潟県	8	2	6		
富山県	4		3	1	
石川県	0				
福井県	4		4		
山梨県	4	1	3		
長野県	1		1		
岐阜県	6		5		1
静岡県	10	6	4		
愛知県	11	1	10		
三重県	9	1	7		1
滋賀県	1		1		
京都府	6	1	4	1	
大阪府	45	7	34	3	1
兵庫県	21	4	16	1	
奈良県	1			1	
和歌山県	6	3	3		
鳥取県	1		1		
島根県	0				
岡山県	5	5			
広島県	11	3	8		
山口県	5	2	2		1
徳島県	2		2		
香川県	2		2		
愛媛県	7	4	3		
高知県	3	1	2		
福岡県	18	4	10	1	3
佐賀県	2		1	1	
長崎県	11	5	6		
熊本県	2	1	1		
大分県	4		3	1	
宮崎県	4		4		
鹿児島県	6	2	4		
沖縄県	22	4	18		
総計	374	77	264	22	11

【表4】 都道府県別 追悼式 参加者人数

都道府県	総数	20人未満	20人以上	100人以上	200人以上	300人以上	参加数不明
北海道	9		3	2	3	1	
青森県	2		1		1		
岩手県	2					2	
宮城県	1			1			
秋田県	3				2	1	
山形県	0						
福島県	1					1	
茨城県	3		1	1		1	
栃木県	2		1			1	
群馬県	2		1			1	
埼玉県	4			1		2	1
千葉県	6		2	3		1	
東京都	6		1	2		3	
神奈川県	2			1		1	
新潟県	7			3		3	1
富山県	3		2			1	
石川県	0						
福井県	2		1		1		
山梨県	1		1				
長野県	1				1		
岐阜県	5		2	1		2	
静岡県	8		1	1	2	4	
愛知県	8		4	1	1	2	
三重県	8		1	1	2	4	
滋賀県	3			1		2	
京都府	4		3		1		
大阪府	14	1	3	6	1	3	
兵庫県	7	2		3		2	
奈良県	0						
和歌山県	5	1	2		1	1	
鳥取県	1			1			
島根県	0						
岡山県	2		1			1	
広島県	9	1	2	1		5	
山口県	5		1	1	1	2	
徳島県	1		1				
香川県	3			1		2	
愛媛県	4			1	2	1	
高知県	1		1				
福岡県	14		1	4	1	7	1
佐賀県	1		1				
長崎県	3			1		2	
熊本県	3			2	1		
大分県	2		1			1	
宮崎県	6		3			3	
鹿児島県	6	1	2	1	2		
沖縄県	2			1		1	
総計	182	6	44	42	23	64	3

【表5】 都道府県別 追悼式 開催会場

都道府県	総数	ホール・会館	公園	寺社	墓地	その他
北海道	9	6	2			1
青森県	2	1	1			
岩手県	2	1	1			
宮城県	1	1				
秋田県	3	3				
山形県	0					
福島県	1	1				
茨城県	3	2	1			
栃木県	2			1		1
群馬県	2	1				1
埼玉県	4	2	2			
千葉県	6	4				2
東京都	6	4	1			1
神奈川県	2	1	1			
新潟県	7	1	3	1		2
富山県	3	1	1	1		
石川県	0					
福井県	2	1			1	
山梨県	1			1		
長野県	1	1				
岐阜県	5			1	3	1
静岡県	8	3	3	1		1
愛知県	8	4	3			1
三重県	8	6	2			
滋賀県	3	3				
京都府	4	1		2		1
大阪府	14	5		3		6
兵庫県	7	3	1	3		
奈良県	0					
和歌山県	5	1	3	1		
鳥取県	1	1				
島根県	0					
岡山県	2	1	1			
広島県	9	3	5	1		
山口県	5	4	1			
徳島県	1	1				
香川県	3	2			1	
愛媛県	4	3	1			
高知県	1		1			
福岡県	14	10	3			1
佐賀県	1		1			
長崎県	3	2	1			
熊本県	3	2	1			
大分県	2	1		1		
宮崎県	6	3	3			
鹿児島県	6	2	3		1	
沖縄県	2		2			
総計	182	92	48	17	6	19

平成22年度～平成25年度 全国の戦災の追悼施設・追悼式

正誤表

正誤表

平成22年度 北海道・東北・関東

頁番号	項目	箇所	誤	正
目次 P1	秋田県	6 番目	高射砲台座上に建てられた慰霊碑	高射砲台座上に建てられた慰霊塔
P3	式次第	1 行目	福祉保険部長	福祉保健部長
P5	式辞	3 行目	戦役者	戦没者
P13	式辞	5 行目	三月二一日	三月二十一日
P35	基本情報	連絡先	青森平和記念像管理団体	青森平和記念像管理財団
P47	基本情報	住所	秋田市土崎港西 1	秋田市土崎港西 1-9-1
P50	表題		高射砲台座上に建てられた慰霊碑	高射砲台座上に建てられた慰霊塔
P51	基本情報	住所	相染町字浜ナシ 2-1 地内	相染町字浜ナシ山 2-1 地内
P57	基本情報	建立年	平成 21 年 3 月	昭和 29 年
P93	基本情報	住所	飯田町 8 1 8	飯田町 8 1 9
P95	式次第	2 行目	式衆入道	式衆入堂
P96	写真提供		宇都宮市平和記念館を作る会	宇都宮平和祈念館をつくる会
P115	碑文	3 行目	太平洋戦争、お終り	太平洋戦争も終り
P165	説明文	1 0 行目	才第	次才
P171	基本情報	建立年	3 月 9 日	3 月 1 0 日
P189	説明文	3 行目	戦没せる	死没せる
P203	基本情報	建立者	大田区戦没者慰霊塔建設奉安会	大田区戦没者慰霊塔建設奉賛会
P220	基本情報	連絡先	健康福祉部 健康福祉総務課	福祉部 福祉政策課

平成23年度 近畿

頁番号	項目	箇所	誤	正
P41	開催概要	参列者数	秋季・秋季共	春季・秋季共
P69	碑文	【裏】1 行目	六月二十日	六月二十六日
P127	碑文	【裏】1 行目	この地区	この地域
P193	基本情報	建立者	下津町戦没者遺族会	下津町戦災死没者遺族会

平成24年度 中部・中国・四国

頁番号	項目	箇所	誤	正
巻頭写真 P2		下段	合同慰霊祭	合同慰霊式
P25	基本情報	建立年	平成 7 年	平成 3 年
P92	基本情報	建立年	昭和 20 年 5 月 19 日	昭和 21 年 5 月
P109	概要	8 行目	50 人ほどの方	50 人ほどの方
P128	米子市英霊塔		一般戦災死没者を含む	一般戦災死没者を含まないため対象から削除
P135	碑文	【裏】1 行目	昭和二十五年	昭和二十年
P187	碑文	【裏】7 行目	牟土岐行	牟岐行
P190	基本情報	建立年	平成 7 年 2 月	昭和 33 年 5 月 建立、平成 6 年 改修
P196	基本情報	建立者	松山市	松山市戦争犠牲者平和祈念碑建立実行委員会
P199	基本情報	建立者	松山市	愛媛県立松山城北高等学校同窓生有志
P199	基本情報	建立年	昭和 43 年 5 月	昭和 26 年 1 1 月

平成25年度 九州・沖縄

頁番号	項目	箇所	誤	正
P13	由来	5 行目	熱意のある	熱意ある
P25	基本情報	住所	徒歩 4 分	徒歩 3 分
P153	基本情報	建立年	平成 8 年	平成 7 年
P167	基本情報	建立者	長崎平和折鶴会	長崎平和の折鶴会

平成26年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式
追補版

発行日
平成26年11月30日

非売品

編集・発行
株式会社NHKグローバルメディアサービス
〒150-0047 東京都渋谷区神山町9-2
電話 03-5454-3851
FAX 03-5454-2291

印刷
株式会社文英堂

製本
東群製本株式会社

本書の収容内容の無断転載、複写、引用等を禁じます。